



経営トップ

株式会社アレックス

幸せ、快適さ、安らぎを生み出す建築空間を創造します

起業家訪問 An Entrepreneur

有限会社浦西開発

RRI No.127

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所

プロ野球キャンプ
シーズン到来!
走れー!!



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

CONTENTS

<p>経営トップに聞く 01 株式会社アレックス ～幸せ、快適さ、安らぎを生み出す建築空間を創造します～ 代表取締役社長 外間 俊</p>	
<p>起業家訪問 An Entrepreneur 06 有限会社浦西開発 ～コンクリート廃材で再生砕石や再生砂を製造する～ 代表取締役 石川 浩</p>	
<p>新時代の教育研究を切り拓く 08 ～ペロブスカイト太陽電池、劣化機構の解明で新境地への飛躍となるか～ 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション (同大学のHP記事より許可を得て転載)</p>	
<p>OCVBの取り組みについて 11 ～旬香周島おきなわ～ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	
<p>アジア便り 香港 15 ～香港での旧正月、イベントについて～ レポーター: 村井 俊秀(琉球銀行) 沖縄県香港事務所に出向中(副所長)</p>	
<p>沖縄県の取り組みについて 21 ～「沖縄県6次産業化サポートセンター」の支援活動について～</p>	
<p>りゅうぎんビジネスクラブ 23 ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～</p>	
<p>行政情報87 25 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組等について 内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	
<p>県内大型プロジェクトの動向84, 85 26</p>	
<p>沖縄県の景気動向 (2016年12月) 30 ～消費関連の百貨店売上や観光関連の入域観光客数が前年を上回り、建設関連も公共工事が好調に推移しており、県内景気拡大の動きは28カ月連続で強まっている～</p>	
<p>学びバンク 42 ・成年後見制度 ～高齢者の財産 法的支援～ 琉球銀行審査部管理課 城間 みゆき(しろま みゆき) ・坐禅のススメ ～ストレスを軽減で人気～ 琉球銀行若狭支店長 玉城 政弥(たまき まさや) ・クレジットカード ～利用手数料 業務収益に～ 琉球銀行総合企画部調査役 是枝 玲緒奈(これえだ れおな) ・企業再生と戦略策定 ～勝ちパターン考えよう～ 琉球銀行法人営業部 棚原 武昭(たなはら たけあき)</p>	
<p>経営情報 2017年度税制改正大綱 44 ～法人税に関する主な改正内容です～ 提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	
<p>経済日誌 2017年1月 45 県内の主要経済指標 46 県内の金融統計 48</p>	

経営
トップに聞く幸せ、快適さ、安ら
ぎを生み出す建築空
間を創造します。

株式会社アレックス

ほかま しゅん

外間 俊 社長

商業施設、ホテル、文化・公共施設、オフィス・病院などの内装の設計・施工を手がける当社は、今年で創業 38 年目を迎える。早くから県外大手企業と競えるデザイン力と技術力を確立し、多様なニーズに应运えてきた。時代の変化に対応しながら、絶えず企業価値の向上に努めている。那覇市泊の本社をお訪ねし、昨年 7 月に社長に就任した外間俊社長に、当社のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 照屋 正

内装の設計・施工に対するお客さまの期待水準は時代とともに多様化しながら、高まっています。そうした中で独自の技術を築き、安定した成長を続けています。御社の創業からこれまでの歩みを聞かせていただけますか

当社は父の外間晃（現会長）が、1979 年に内装の設計・施工事業とインテリアショップを兼ねた「アレックス」を起業したのがスタートになります。創業者である父は、インテリアデザイナーを目指して東京のデザイン専門学校で学び、都内の内装設計・施工会社に就職。そこで技術を身に付け、最新の店舗デザインを学んだ後、沖縄にもどり那覇市松尾で起業しました。

開業して、さっそく国際通りの店主の方から依頼を受けて店舗づくりを手がけたところ、新しい店舗デザインが評判を呼び、国際通り商店街

の皆さまから次々と注文をいただいたそうです。

業容は順調に拡大し、1981 年に有限会社アレックスと法人化、まもなく株式会社組織へ移行しています。

一方当時は、大型の商業施設やホテルの建設は大手ゼネコンと系列の内装会社が請け負うのが一般的で、県内の内装会社が請け負うことはほとんどありませんでした。「沖縄には技術力がない」といわれていた時代です。

技術力を高めるために当社が行ったのは、大手が請け負う内装工事に積極的に手をあげて参加させてもらうことでした。もちろん現場で教えてもらえるわけではありません。見よう見まねで技術を習得するのです。こうした機会を重ねることで、少しずつノウハウを蓄積し、県外大手企業と競えるだけの技術を確立していった



福祉施設施工例



ホテル・リゾート施設施工例



ホテル・リゾート施設は当社の得意とする分野



商業施設施工例

のです。

その後、リゾートホテルのリノベーションや大型商業施設の改装など、大きな仕事も数多く依頼を受けるようになりました。

1992年には、業界最大手の株式会社乃村工芸社と組んで株式会社沖縄ノムラを設立しています。博物館や資料館といった特殊な施設は、専門的な知識や技術、入念な準備が求められます。沖縄ノムラを通じてこの分野のノウハウを積み、1999年に沖縄県平和記念資料館の展示設備を手がけ、その後、首里城、沖縄県立博物館のほか、市町村の多くの文化施設の設立に係わっています。

私は大学を卒業後、26歳までハワイに留学していました。当社に入社したのが2002年、その後ずっと現場一筋で技術を磨き、40歳になった昨年7月に創業者を継いで社長に就任しました。他の経営者の方々とのネットワークを大切に、交流を通じてさまざまなことを学びながら、当社にとって有益と思われるものは積極的に取り入れていきたいと考えています。温故知新が現在の経営の基本スタンスです。

従来の内装事業の枠を超え、自社を「空間環境デザイン業」と位置付けて、沖縄の特性を活かした独自の企画・デザインを提案しています。御社の事業の概要をご紹介いただけますか。

現在、社員は14人。現場の数や規模に応じて協力会社の皆さんとともに、クオリティーの高い設計・施工を提供しています。

私たちは、自社を「環境創造企業」と呼んでいます。人が集い、憩い、活動するあらゆる空間（商業施設、ホテル、リゾート施設、公共施設、文化施設、オフィス、住宅）を、“環境づくり”という観点から創造する会社です。従来の「内装」の枠を超えた新しい業態といってもよいでしょう。とくに、沖縄の自然や伝統との調和を図っていくことが、私たちの使命だと考えています。

以下、事業内容を施設分野ごとに紹介しましょう。

■ホテル・リゾート施設

当社のもっとも得意とする分野が、ホテルやリゾート施設の改修工事です。24時間365日運営されている施設内での工事でも、施設を利用されるお客さまに支障をきたさないように対応することが可能で、依頼主さまから評価をいただいています。

■商業施設

創業以来、飲食、物販、理容業、エステ・スパ、ライブハウス、娯楽施設など多くの商業施設づ



気配りの行き届いた施設づくり（商業施設）



デザインかで需要を広げる（商業施設）



オフィス施工例



病院施設の施工例

りに携わってきました。「おもてなしの心をかたちにしていく」を基本に、気配りの行き届いた施設づくりを心がけています。

■オフィス・病院

オフィスや病院は一般に、画一的で閉じられた空間という印象を持たれますが、当社はそうしたイメージを変えるさまざまな提案を行っています。とくに「沖縄らしさ」を感じていただける空間づくりに力を入れており、それをコンセプトにしたデザインの「リゾートガーデンオフィス」が好評で話題を集めています。

■分譲住宅

4年前に住宅建築部門を設け、事業範囲を広げました。住宅建築に店舗づくりのデザインセンスを取り入れられるのが当社の強みですが、こうしたニーズが最近増えてきていることもあって、独自の住宅づくりでニーズに応えています。住宅建築事業は、数年後には柱の一つとなるように育てたいと考えており、とくに別荘建築の将来の需要に期待を持っています。

沖縄観光が今後も伸びていく中で、私たちは将来、沖縄がアジア有数のリゾート地になるとみています。その進展にともなって、国内外から「沖縄に別荘を持ちたい」という動きが増えると予想しています。今は将来に向けた準備期間といった方がよいかもしれませんが、間違い

なく一定のマーケットが形成されると思います。それについての現状と見通しについて、会長の外間からもう少し詳しくお話しします。（以下、外間晃会長ヘインタビュー）

外間会長ご自身のライフワークが高じて、北部の東村に別荘を建て、小さなリゾート施設を造られたそうですが、その経緯をお話いただけますか。

私は20年ほど前から、週末に“やんばる”で過ごす生活を送っています。本島北部の豊かな自然に魅せられてたびたび通ううちに、健康と環境を意識したライフスタイルがすっかり気に入り、生活の一部になったのです。

機会があって東村慶佐次に別荘と1500坪の土地を取得しました。そこを一人で手入れしながら農作物を植え、動物を飼い、私なりのちょっとしたリゾート空間を造りました。そこに県外の知人を招待したところ、とても感動してくれて繰り返し訪れるようになったのです。ほかにも、招待した皆さんのほとんどが同様に「また来たい」と言ってくれました。

そのときに、沖縄の持つ魅力を改めて考えたのです。私は建造物を学ぶために、これまで数多くの海外の観光地、リゾート地を見てきましたが、はっきり言えることは「沖縄は間違いな



分譲住宅の施工例



国内外から利用者が訪れる「やんばる回ハス」



住宅建築にも力を入れる



「やんばるロハス」で乗馬を楽しむ

く世界に誇れるリゾート地になれる」ということです。この確信があって、もっと多くの人に沖縄のリゾートライフを体験してもらいたいと、8年前に「株式会社やんばるロハス」を立ち上げました。「ロハス」とは、健康的で環境に優しいライフスタイルのことで。

この小さなリゾート施設は口コミで広がり、今では国内外からお客さまが訪れるようになっていきます。その中から「外間さんと同じように別荘を持ちたい」という方がいらっしやって、お手伝いしたところ、それがさらに口コミで広がり、沖縄リゾートライフの輪が広がっています。

「私のライフスタイルが参考になれば喜んでお手伝いします」という気持ちで事業に取り組んでいますが、こうした動きは沖縄がリゾート地として高く評価されている証だと思っています。大事なマーケットとして、今から県の施策の中でしっかりと整備する必要があると考えています。

外間会長が考える「リゾート地沖縄」の姿をお聞かせください。

リゾート地とは、「いったんその場の空気を吸えば、引き寄せられるように何度も訪れてしまう。そして、できるだけ長く滞在したくなる」場所だと考えています。

すでにリピーターの多い沖縄は、「観光地」と

いうよりも、「リゾート地」としてとらえるべきだと思いますし、その立場から私はできるだけ多くの人を呼び寄せたいと思っています。

私は「沖縄リゾート」を「おきりぞ」と呼んでいます。「おきりぞ」のモデルは、ヨーロッパの避暑地・避寒地です。世界の富裕層から愛されリピートされる、エキゾチックな南の楽園です。その詳細は、4月に出版する私の著書『なぜ、世界のお金持ちは、こっそり「おきりぞ」を楽しむのか?』の中でまとめていますが、「～アジア最高のリゾート地は沖縄だった～…有人離島 39 個、サンキューアイランドが日本を変える…」と私が本気で思っていることを紹介しています。全国で出版されますので、ぜひ一読ください。

「おきりぞ」は沖縄だけの財産でなく、日本経済のけん引役になると私たちは考えており、今後も「おきりぞ」を楽しみたいという皆さんを積極的にサポートしていきたいと思っています。

(以上、外間晃会長談)

社長に就任されて半年が経ちました。御社の経営理念と外間社長のお考えになる経営方針などについてお聞かせください。

経営理念

<使命>

私たちは空間環境デザイン業として、沖縄の特

会社概要

商 号: 株式会社アレックス
 所 在: 沖縄県那覇市泊 1-34-2 ODM ビル 3F
 連 絡 先: 098-863-3155
 創 業: 1979 年 (昭和 54 年) 8 月 5 日
 法人設立: 1981 年 (昭和 56 年) 1 月 10 日
 役 員: 会 長 外間 晃
 代表取締役社長 外間 俊

社 員 数: 14 人

事業内容: 商業施設、ホテル、リゾート施設、博物館、資料館等公共施設の企画・設計・監理・施工、建築設計、インテリア商品の企画制作および販売など

グループ会社: 株式会社やんばるロハス



南イタリアへの研修旅行



定期的に行っているグリーンバード (清掃) 活動

質を生かした独自の企画・デザイン力と高品質の技術をもって地域文化の創造と経済の発展に貢献します。

＜目標＞

私たちは沖縄の伝統文化とロマンを生かす空間デザイン業のリーディング・カンパニーを目指します。

これまで当社は、沖縄の業者では無理だと言われた仕事も、創意工夫によって高いハードルを越え実績を積み重ねてきました。経営者はつねに企業価値の向上をめざして、会社も自分自身も変わって行く前向きな姿勢を持ち続けなければならないと思っています。創業者はこれを実践してきましたし、私もしっかりと踏襲していきます。社員の皆さんには、「豊かな個性とエネルギーな行動力、へこたれないタフさを持って仕事に打ち込んでほしい」と言っています。それがチャレンジ精神に富んだ組織の原動力になると考えるからです。

一方で、社員がより働きやすい職場づくりに取り組みます。例えば、当業界は構造的に残業の多い業界です。建物の躯体工事が遅れると、どうしても内装工事の期間で調整することが多くなるためです。改善の余地があると思いますので、関係者の皆さんとともに良い方向へ変え

ていきたいと考えています。

これからの事業の展開やビジョンについてお話しいただけますか。

「環境創造企業」としてお客さまの期待を超える空間を創造するには、施工技術の向上はもちろんですが、著名な建造物や最新の創造空間に直接触れ、見る目を養い創造力を磨く必要があります。創業者は、海外出張の際には必ず社員を連れ、現地のすばらしい建造物などを見て回り、自身のセンスを磨くと同時に人材育成を図っていました。私もそれを実行します。

昨年の社員旅行は、南イタリアでした。社員旅行は「海外での有名建造物を視察し、目で見て、肌で感じ、デザイン力、提案力に活かす。また最高のコミュニケーションツールとして相互の絆を深める」ことを趣旨としています。三年に一度はこうした海外視察を実施し、人材育成、価値観の共有、企業価値の向上につなげ、当社が目標とする空間デザイン業のリーディング・カンパニーをめざしていきたいと思っています。

有限会社浦西開発



建物の解体で発生するコンクリート殻を原材料に、再生砕石や再生砂を製造し、道路建設工事などを行う。本島2カ所に製造工場を持ち、需要の急増に対応する。



石川 浩 社長

事業概要

○代表者	石川 浩
○設立	1996年4月26日
○事業内容	土木建築工事・建物解体工事・路面切削工事・産業廃棄物中間処理・再生製品の販売・収集運搬業
○本社	沖縄県浦添市西原4丁目36番20号
○浦添工場	浦添市西原1673
○西原工場	西原町字小那覇稲国原1193
○TEL	098-873-1144
○社員	28人

事業の内容

当社は、建物を解体する際に発生するコンクリート殻（がら）や道路補修工事で掘り起こされるアスファルト殻などを原材料に、再生製品を生産して、それを土木工事などに再利用する事業を主体とする会社です。

例えば、建物の解体によって発生するコンクリート殻を、自社で所有するプラントに運び込み、それを細かく破碎して再生砕石や再生砂を製造し、道路や駐車場などの建設の路盤材として使用しています。路盤材とは、土木工事の最初の工程で敷設する土木建設資材です。

建物の解体によって発生するコンクリート殻などは、産業廃棄物と呼ばれます。産業廃棄物とは、事業活動にともなって生じた廃棄物で、廃棄物処理法で規定された20種類の廃棄物をいいます。現在、当社が受け入れることのできる廃棄物は、コンクリート塊、アスファルト塊です。

起業への道のり

私は神奈川県で産業廃棄物処理会社にしばらく勤めた後、そこで身に付けた知識とスキルを活かして起業してみたいと、26歳のときに沖縄にもどり準備を進め、1996年に有限会社浦西開発を設立しました。場所は、父がサトウキビを栽培していた浦添市西原、現在の本社のある土地です。

創業当初は、一般的な産業廃棄物の収集・分別・販売も行っていましたが、コストパフォーマンスを考えたとき、コンクリート殻を活用したリサイクル事業と土木事業に特化した方が効率的と判断し、2003年ごろから今の事業形態になっています。再生砕石の製造施設は、浦添市西原の浦添工場と西原町字小那覇稲国原の西原工場の2つを持っています。自社で製造施設と広いヤードを持ち、解体工事と土木工事を手がけているのは、県内では当社を含めて数社だけです。

社員は28人。協力会社の皆さんも含めると、常時50人前後の規模で事業を運営しています。1級土木施工管理技士や解体工事施工技士などの資格を持つ社員が16人います。資格取得を奨励し、できるだけ複数の業務に携われるように人材を育成しています。

最近の人手不足は、当業界でも顕著です。当社は、トラック運搬業務をアウトソーシングし、その分の人員を施設内の業務にシフトすることで人手不足に対応しています。社員の多くが重機車両を操作できるので、こうした臨機応変の体制を組むこ



執務室に設置したモニターで現場を把握する



広い敷地を有する西原工場



コンクリート殻は再生破碎石や再生砂として製品化される



浦添市西原の浦添工場



西原工場の事務所



県内では当社のみが所有する最新の切削機

とができます。今は人手不足が課題になっていますが、長期的にみると景気の波によって人員の余剰が発生する可能性もあるわけで、それを見据えながら、目の前の人手不足に対処するのが重要と考えています。

リサイクルの流れ

再生碎石と再生砂の製造の流れは、以下のとおりです。

- ①建物の解体工事で発生したコンクリート殻を工場に搬入します。
- ②コンクリート殻を小割りにします。鉄筋入り殻は、細かく砕いて鉄筋だけにします。
- ③鉄筋をマグネット重機で採取して取り除きます。除去した鉄筋は、他社へ買い取ってもらいます。
- ④小割りにしたコンクリート殻を破碎機へ投入します。
- ⑤処理された破碎石を、さらに3種類の大きさに粒度調整します。
- ⑥その結果、再生粒調碎石 (RM40)、再生クラッシャー (RC40)、再生砂の3種類の製品ができます。

各施設の作業の様子は、私の執務室に設置しているモニターで見ることができます。リアルタイムで現場の状況を把握することができるので、スピーディーに的確な指示を出すことができます。これによってかなりの効率化が図られました。

当社の特徴

製造した製品は、自社で使用するほか、土木会社や建設会社への販売も行っています。販売先からは「品質が良い」との評価を受け、継続して購入していただいています。解体現場で発生するがれきには、鉄くずやガラスくずなどが多く混ざっています。それを丁寧に分別し、きれいなかたちで原材料として使用していることが品質の良さにつながっていると考えています。

もう一つの特徴は、工場を2カ所に持っているため、大量の受注に対応できるほか、お客さまにとってアクセスのしやすい工場が選べる点です。南部地域に現場を持つお客さまの多くが、西原工場を利用しています。

今後の取り組み

県内の土木・建築工事が活発なため、製品需要はかなりありますが、供給がそれに応じきれない状況が出てきています。原材料の調達に間に合わないのです。もちろん解体事業会社からも積極的に仕入れています。追いつかないのが現状です。

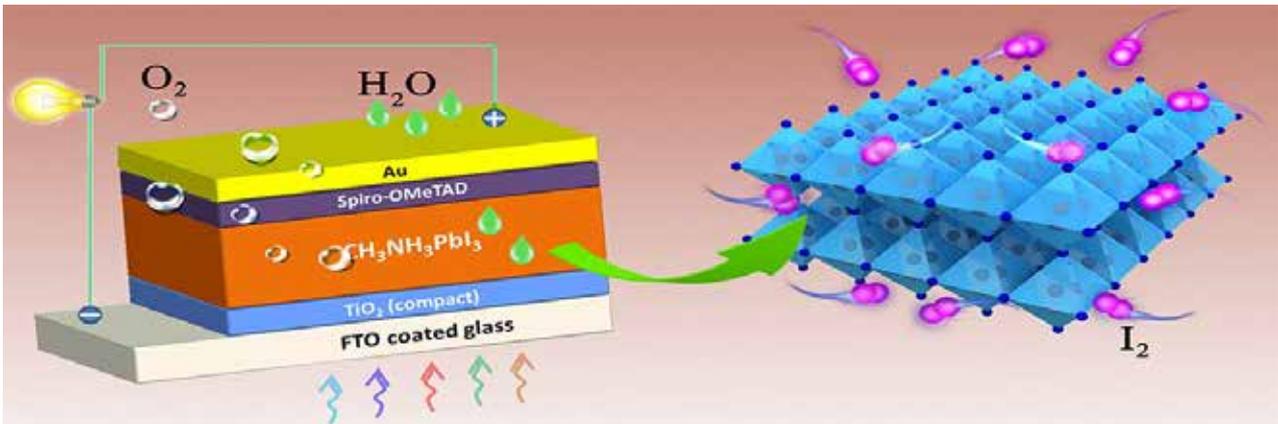
こうした背景があって、今後は建物の解体事業にも力を入れていきます。その一環として仮設足場の施工事業を手がけたいと考えており、検討を始めたところです。原材料の安定した調達体制を確立します。(レポート 照屋 正)

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

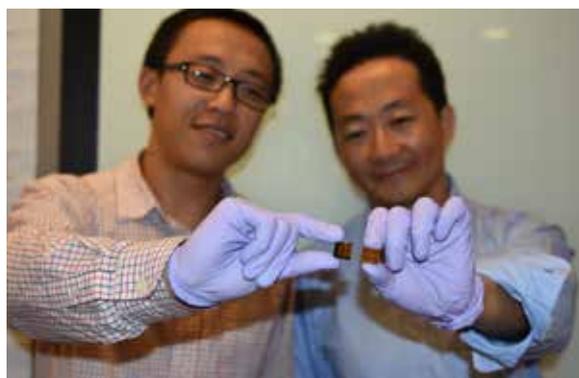
ペロブスカイト太陽電池、劣化機構の解明で 新境地への飛躍となるか



産業界や政府系機関で太陽電池技術の普及が進む一方で、個人消費者には高額すぎて手が届かないという現状があります。より多くの人が利用できるようにするためには、従来のシリコン系（Si）太陽電池よりも安価でエネルギー効率の高い、新しいタイプの太陽電池が必要です。太陽光発電技術の分野でいま話題となっている研究テーマの1つが、優れた電力変換効率と、低コストで製造できる特徴を持つ有機無機複合層状ハロゲンペロブスカイトを太陽電池の材料として利用することです。

ペロブスカイトは結晶構造の一種で、様々な化学結合により形成することができます。太陽電池に適用できる数あるペロブスカイト材料の中でも、最も広く研究されているのが、ヨウ化鉛メチルアンモニウム（MAPbI₃）です。この材料を使った太陽電池の変換効率は20%を超え、Si太陽電池に比べて低コストでの製造が可能です。しかし、耐用年

数が短いことから、Si太陽電池に替わって実用化されるまでには至っていません。そこで、沖縄科学技術大学院大学（OIST）エネルギー材料と表面科学ユニットでは、より高性能な太陽電池の開発に役立てようと、ペロブスカイト太陽電池（PSCs）の急速な劣化要因を調査しています。

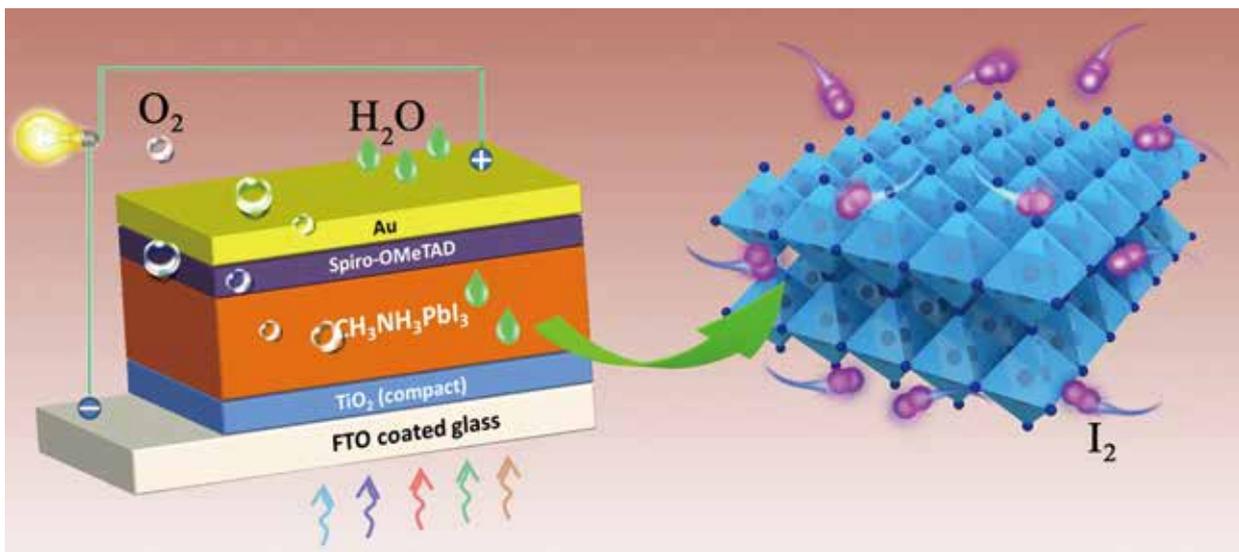


作製されたばかりのペロブスカイト太陽電池を手を持つジャン・イェン博士（左）。シェンハオ・ワン博士（右）が持っている試作品からも分かるように、劣化したMAPbI₃ペロブスカイト太陽電池はかなり変色している。

この度、Nature姉妹誌の *Nature Energy* に掲載された論文の筆頭著者、シェンハオ・ワン博士は、MAPbI₃ペロブスカイトの劣化を防ぐ方法は存在しない可能性があるとして述べています。ヨウ素を含むペロブスカイトは、太陽電池作動中にガス状ヨウ素 (I₂) を放出し、それがペロブスカイトのさらなる劣化要因となっていることを今回の研究で明らかにしました。これまで多くの研究者が、空気や湿気、熱といった外的環境をMAPbI₃の劣化要因として挙げてきました。しかし、それらの要因を全て取り除いてもなお太陽電池の劣化

が止まなかったことから、原因はPSCsそのものが有する特性にあると、ワン博士は考えました。

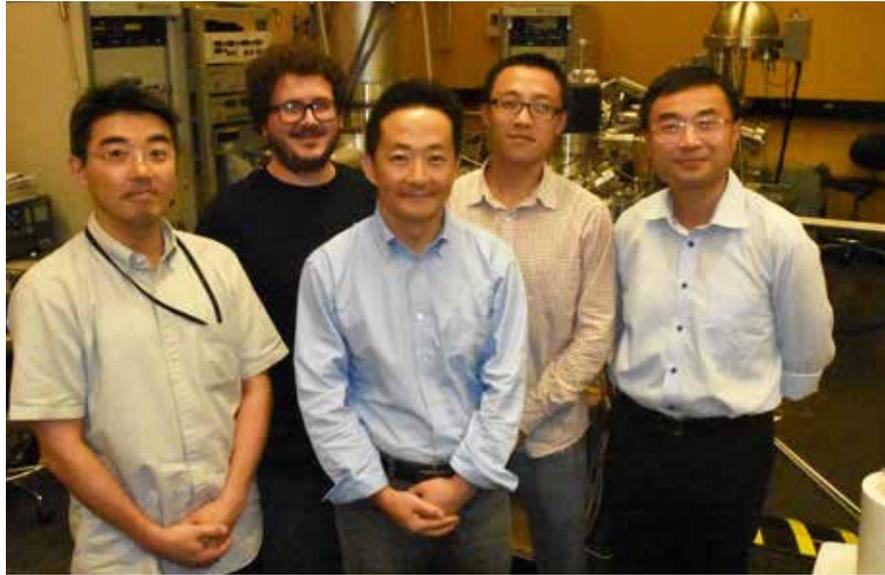
「ヨウ素を含むこれらのPSCsはおのずとヨウ素蒸気にさらされるため、MAPbI₃ペロブスカイト化合物からヨウ化鉛 (PbI₂) へと急速に分解されます」と、ワン博士は説明します。「ヨウ素の蒸気圧は周りの圧力よりも高いので、ペロブスカイト材料の他の部分にもすぐに浸透し、太陽電池全体の性能を劣化させてしまいます」。



太陽電池の様々な劣化要因（空気や湿気、光照射、電場印加など）を示した略式図。
ペロブスカイト太陽電池は作動中にヨウ素を放出し、性能劣化につながる。

とはいえ今回の研究結果により、ペロブスカイトが有望な太陽電池材料の対象から除外されるというわけではありません。「様々な望ましい光起電力特性に加え、ヨウ素含有量を少なくしたもの、あるいはヨウ素放出が原因で生じる劣化に耐えられる

構造を備えた新しい材料が必要であるということが、この実験で明らかになりました」と、エネルギー材料と表面科学ユニットの主宰者で本論文の責任著者であるヤビン・チー准教授は説明します。



今回の研究に携わったエネルギー材料と表面科学ユニットの研究者たち。左から、大野勝也博士、エミリオ・フアレス・ペレス博士、シェンハオ・ワン博士、ジャン・イエン博士、ヤビン・チー准教授

OISTの研究者らは、より優れた変換効率と耐久性を備え、低コストで製造できるペロブスカイト材料を見出すため、様々な材料の研究を続けています。さらに、一般消費者が利用しやすくするために、安価で、

効率性と安定性に優れた太陽電池を開発することが今後の課題です。安くて高性能の太陽電池が幅広い消費者層に受け入れられ、さらなる普及拡大に繋がることが期待されています。



OISTではキャンパスツアー(ガイド付もしくは自由見学)を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方はwww.oist.jp をご覧下さい。

しゅん か しゅうとう
 ～ 旬香周島おきなわ～
 学卒プロジェクトの実施について



1. 旬香周島おきなわとは

平成 24 年度より開始した「旬香周島おきなわ」(通称しゅんおき)は、Web サイトを主軸に映像、パンフレットなどの媒体を用いて沖縄の旬の観光情報の発信、家族旅、三世代旅行、女子旅、大人旅、学生旅行など、沖縄の楽しみ方をさまざまなターゲットに合わせて提案している国内向けプロモーションです。



旬香周島おきなわ HP <http://cp.okinawastory.jp/>

2. 県内の学生目線でおすすめの旅行プランを提案！「学卒プロジェクト」の開催

(1) 沖大メディア研究会との連携

「旬香周島おきなわ」では、2、3月の卒業旅行を中心とした学生誘客施策展開の一環として「学卒プロジェクト」を開始しました。これは「県内の同年代の学生が発信する情報であれば信頼性も高く、県外の学生たちの共感も得られるはず！」という仮説のもと、地元学生が学生ならではの目線で沖縄での卒業旅行プランを作るプロジェクトで、平成 26 年度よりスタートしました。

学卒プロジェクト開催に至ったきっかけは、平成 25 年度に沖縄大学のメディアやマーケティングについて研究するサークル「沖

大メディア研究会」と連携した「グラトリ～Graduation Trip～」という企画活動でした。学生が主体となって取材を行い、カメラ女子やカップル、グループ向けのモデルコース、おすすめのお土産やアクセス方法について、Web 特集やパンフレットなどで紹介ツールを制作する企画です。

制作したツールを旅行代理店や県外イベントなどで配布したところ、高い評価を得たため、より多くの地元学生に沖縄の魅力を県外学生へ発信してほしいという思いから「学卒プロジェクト」が開催されることになりました。



パンフレット



Web 特集 (<http://cp.okinawastory.jp/top/tokushu/p-22/>)

(2) 学卒プロジェクトの取り組み

学卒プロジェクトでは、旅行プランを制作するだけでなく、沖縄観光の現状や若年層の観光ニーズ、旅行の傾向について学んだ上で企画へと進みます。企画内容は、旅行代理店の企画造成担当者が審査員となって審査します。

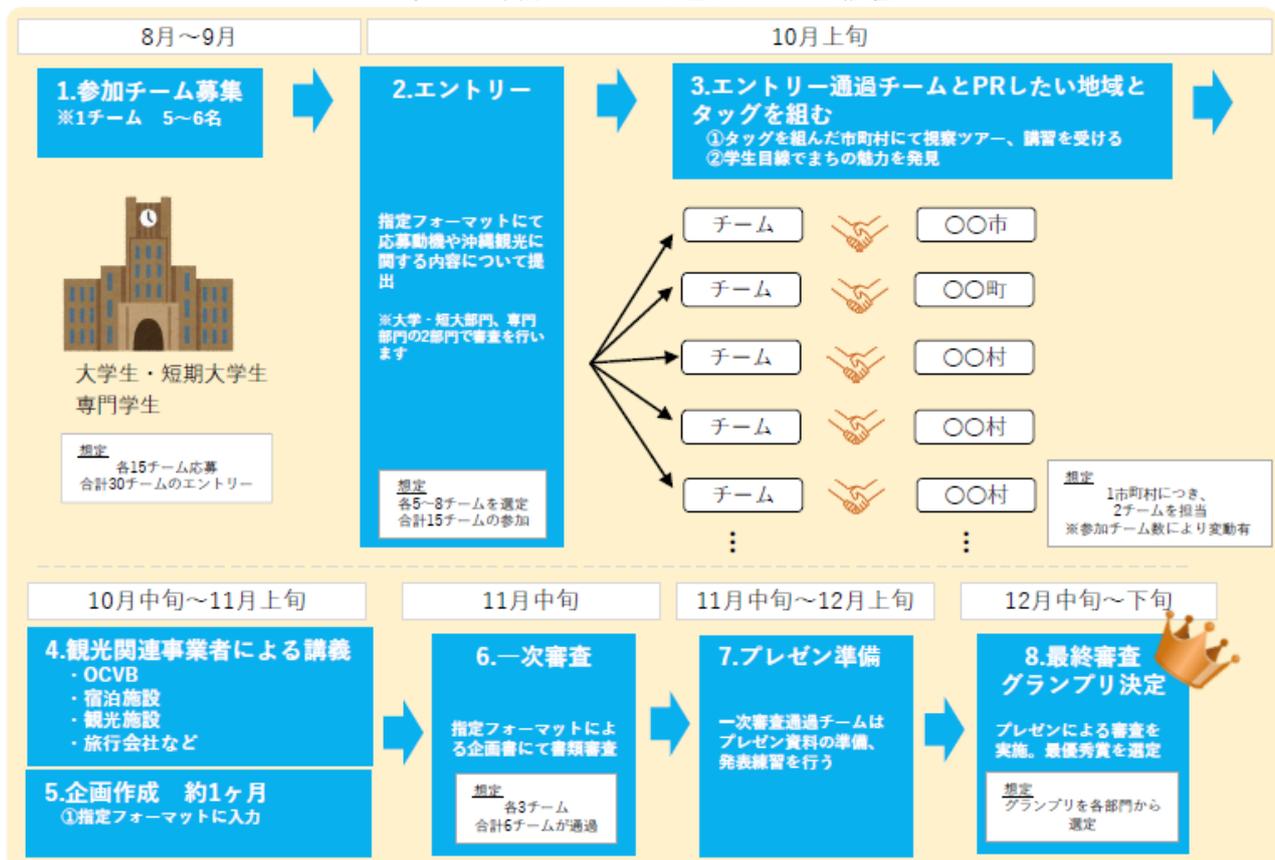
初年度の平成26年度は、沖縄県内の大学へ協力を要請し、4大学5チームの25名が参加しました。平成27年度は5大学18チームの91名が参加。3年目の平成28年度は、短期大学、専門学校の参加募集も行い、大学・短期大学部門が6校17チームの83名が参加、専門学校部門が1校10チームの54名が参加しま

した。年々参加者も増加し、学生や観光業界からの注目度も高まるプロジェクトへと成長しています。

3. 「学卒プロジェクト2016」の実績

新たに参加枠を短期大学・専門学校まで広げて行われた平成28年度は、初の試みとして地域観光協会もプロジェクトへ参画し、参加学生に対して地域の観光に関する取り組みや展望について座学講習、現地視察を実施しました。「学生らしい視点で地域密着型の新たな魅力の発掘」が行われる仕組みにつなげています。

平成28年度 学卒プロジェクト2016 展開図



現地視察の様子





1次審査の書類選考で大学・短期大学部門より上位4チーム、専門学校部門より上位3チームが選定され、平成28年12月26日(月)に

最終審査としてプレゼンテーションを行ってもらい、各部門より最優秀賞を決定しました。

プレゼンテーション・審査結果発表



大学・短期大学部門の最優秀賞を受賞した宜野座村担当の琉球大学チームは「ただいま！宜野座」をコンセプトに、宜野座村を訪れた人がホームタウンに帰ってきたかのような懐かしさ、あたたかい気持ちになる旅を提案しました。学生らしい明るく元気なプレゼンテーションと、企画内容と実現性の高い点、観光協会や各施設との連携に工夫があった点が高く評価されました。

また、専門学校部門の沖縄市担当であるインターナショナルリゾートカレッジチームは、昼の沖縄市を楽しむ女子旅プランを提案。沖縄市の歴史や概要、施策の取り組みについて調べた上で企画が練られていた点が評価されました。

大学・短期大学部門 宜野座村担当 琉球大学チーム



9回のフィールドワークで宜野座村の魅力を追求



宜野座村を4つの軸で紹介



1年後に届くオリジナルポストカード

専門学校部門 沖縄市担当 インターナショナルリゾートカレッジチーム



2 コザゲート通り(ドル体験+ヒストリート)
 12:50分着予定 所要時間1時間(～13:50) 費用～5000円
 《ポイント》 沖縄・日本・アメリカの文化が入り混じっているコザでは、外国人に人気のお店。外国人が経営しているお店があるので、日本にいたらかなかでないドルを使用できるのが特徴。
 Information
 住所: 沖縄県沖縄市中央1-17-17
 TEL: ヒストリート 098-929-2922
 市史編集担当 098-939-1212
 営業時間: 火曜日～日曜日 11:00～19:00
 URL:
<http://www.city.okinawa.okinawa.jp/about/130/233>

沖縄市の歴史に触れる“ドル体験”や施設



6 泡瀬ビジュル
 10:45着予定
 所要時間30分(～11:15) 費用 お守り、おみくじを買う場合は約600円必要。
 《ポイント》泡瀬地域の守り神、子宝・安産、無病息災、交通安全などに縁深い利益があるといわれる。[ビジュル]というのは、沖縄では信仰の対象とされる墓石のこと。
 Information
 住所: 沖縄県沖縄市泡瀬2-1
 TEL: 098-939-4501
 営業時間: 10:00～18:00
 URL:
<http://kozaweb.jp/venue/detail.html?&sp=true&category=4&id=1335>

子宝・安産祈願などで有名なスポット



3 ダイニングコレア
 14:10着予定
 所要時間約1時間45分(～15:55) 費用～1000円
 《ポイント》 東海岸を見下ろす丘陵地に位置するコレアは外人住宅をリノベーションしたハワイアンダイニング。白を基調としたおしゃれな店内にはキッズルームもあり、ママたちにも大評判。自慢のハワイアングルメも見逃せない!!
 Information
 住所: 沖縄県沖縄市高原1-3-19
 TEL: 098-989-7070
 営業時間: 11:00～16:00
 URL: <http://cocolea.org/>

ロケーションもおすすめのスイーツ

4. 今後の展望について

今回最優秀賞を受賞した宜野座村担当の琉球大学チームは、何度も現地へ行き、フィールドワークや地域観光協会からのヒヤリングなど、さまざまな調査をチームで行ったことでプロジェクトへの想いも強くなり、企画書の完成度も高くなったように感じられました。

今後、学卒プロジェクトでは、教わるだけの講習から一歩進めて、チームワークが高まるような意見交換やブレインストーミング、グループワークを盛り込むことで、企画書の完成度を高めていきたいと考えています。また、参加体験が学生の今後に活かせるプロジェクトとして充実を図ります。

学生の皆さんが企画した旅行プランは、着地型コンテンツとしてWeb、リーフレットなどをとおして県外へ広く発信したいと考えています。それが滞在日数延伸へつながることを期待しています。

一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 (沖縄産業支援センター 2 階)
 広報チーム mail: pub@ocvb.or.jp

HONG KONG

アジア便り 香港 vol.104



レポーター
村井 俊秀 (琉球銀行)
沖縄県香港事務所に出向中
(副所長)

香港での旧正月、 イベントについて

はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の村井です。2017年が始まり早くも1か月経ちました。日本はお正月モードがすっかり抜け、年度末に向け皆様忙しい日々をお過ごしかと思いますが、香港を含めた中華圏の国や地方は旧暦に重きを置いており、旧正月により新年を盛大に祝います。

今年の旧正月は1月28日でした。香港では旧暦の元旦から3日間が祝日となりますが、今年は旧暦の1月2日が日曜日となるため振替休日があり1月28日から1月31日までが祝日となりました。この時期は多くの企業がお休みする他、多くの人々が有休休暇を併せ長期休暇を取得し旅行に出かけたりします（因みに香港人の有給休暇取得率は世界トップクラスで、ほぼ100%消化されていると言われています。日本は韓国とワースト1位、2位を争っています）。クリスマスが終わると街はそれまでのクリスマスフェアから旧正月フェアへと装いを新たにします。至る所が赤い色で装飾されたり、多くの実を付けた柑橘類の鉢植えが飾られたりと一年で最も華やかに彩られます。

今回は、当所が携わった各種イベントについて報告したいと思います。



旧正月前の買い出しで賑わう香港の街並みと
旧正月の花火の様子（上3枚）

1. 広東ジャパンプランド

(平成 28 年 12 月 3 日～4 日)

中国本土各地で毎年開催される日本を紹介するイベントで、当所管区である広東省では 12 月 3 日、4 日の 2 日間、広州市の AEON 番禺広場店（ぱんゆうひろばてん）にて開催されました。当所は沖縄県ブースを出展し、沖縄の観光・物産の PR を実施するとともに、中国本土におけるオリオンビール様の代理店である深セン一番食品様に御協力頂きオリオンビールの試飲・販売も実施しました。

香港に比べると沖縄の認知度は未だ低い中国ですが、昨年と違い、沖縄を知っている人、沖縄に行ったことがある人が増えているのを感じました。広東省から沖縄へは航空路線の直行便はありませんが、深セン・広州からはクルーズ船が就航していることもあり徐々に認知度が高まっているようです。今後、航空路線の直行便が就航した場合、沖縄の認知度はさらに高まっていくでしょう。



広東ジャパンプランドの様子（上 3 枚）

2. 天皇誕生日レセプションパーティー

(平成 28 年 12 月 1 日：広州、同 12 月 6 日：香港)

毎年、天皇誕生日のある 12 月に日本総領事館が主催するレセプションパーティーで、例年、日系企業や日本企業と仕事等で関係がある企業の皆様が参加します。当所は来場者をおもてなしするため沖縄ブースを出展しました。当所ブースでは、広州ではオリオンビール、香港ではオリオンビールに加え、アグー豚、海ぶどうを来場者に振る舞いました。振る舞った全ての商品は大変好評で、何回も試食に訪れる方々もいらっしやる程でした。





天皇誕生日レセプションパーティーの様子（3枚とも）



香港ウエディングエキスポの様子（3枚とも）

3. 香港ウエディングエキスポ

（平成28年12月9日～11日）

香港では毎月のように開催されているウエディングエキスポですが、沖縄県は例年2月と12月のエキスポに出展しています。香港人にとって、沖縄は海外ウエディングの目的地として非常に高い人気を誇っており、沖縄で挙式する外国人の約半数が香港人という程の人気振りで、今回のイベントでは香港国内外合わせて約280社が出展し、開催期間3日で約50,000人が訪れました。沖縄県ブースでは県内から10社が出展、200組と商談し、18組の成約に結び付きました。



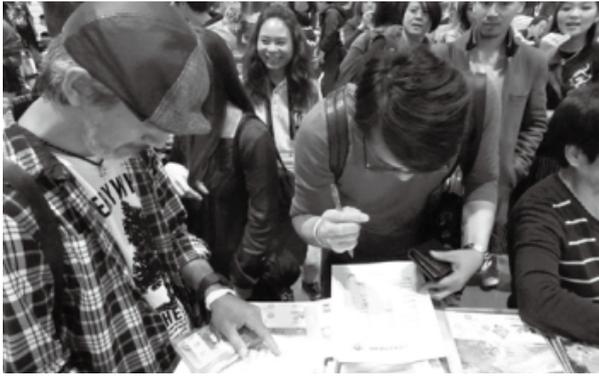
4. 香港ダイビング&トラベルエキスポ

（平成28年12月9日～11日）

沖縄は言わずと知れたダイビングのメッカですが、その海の透明度、生物多様性は世界基準においても有数であることを皆様ご存知でしょうか。このイベントは主にダイビングをPRすることを目的としており、世界各地の企業や地域が出展しました。中には遠くアフリカから出展している企業もありました。

沖縄への観光客数が増加するのに比例してダイビングをする外国人観光客も増えており、県内事業者様では外国籍の従業員を雇用し外国人観光客を受け入れる体制を整えているダイビング会社が増えてきています。昨年6月から香港・石垣間に直行便が就航したことで今後、ダイビングを目的にいらっしゃる外国人観光客は更に増加することが見込まれます。





香港ダイビング&トラベルエキスポの様子 (3枚とも)

5. Yardbird 沖縄イベント

(平成 28 年 12 月 12 日～13 日)

香港島の中でも繁華街として知られる上環、中環地区に立地し、欧米人が経営する焼き鳥レストラン「Yardbird」にて沖縄食材を使ったイベントを2日間実施しました。

香港は1997年の中国返還までの約150年の間イギリスの統治下にあったこともあり、多くの欧米人が住んでいます。沖縄について香港人のみならず香港に住む欧米人にも発信するため、日本に造詣が深く、且つ、欧米人への情報発信力がある飲食店というコンセプトのもと今回上記レストランと連携することになりました。

昨年4月にシェフや飲料担当、広告担当等を沖縄に招き、沖縄の食材や酒類を試食試飲して頂くことで、沖縄をより深く知って頂く試みを実施しており、今回はそれが香港で具体的なイベントに繋がった形となりました。

当日は、オープンから満員御礼の大盛況で、

いらっしゃったお客様はほぼ欧米人だったばかりか、沖縄食材を使ったイベントということで、わざわざいらっしゃった方もおり、当所が想定していた以上に盛況なイベントでした。

沖縄食材としては、豚肉をメインとし、豆腐や島人参等まだ香港であまり知られていない食材も使われました。シェフ達は特にピパーツを気に入り、味のアクセントとして様々なメニューに使用していました。海外の人々がどのような食材に着目するかは我々沖縄に住む人々だけでは把握できないということを痛感するきっかけにもなりました。



Yardbird 沖縄イベントの様子 (3枚とも)

6. ワン・タツコン先生沖縄食材を使用した中華料理デモンストレーション

(平成 29 年 1 月 11 日～12 日)

現在、沖縄食材が使われているレストランは日本料理店が主であり、その店舗数は香港における飲食店のわずか数パーセントに過ぎません。当所では、沖縄食材をより多くの人々に食して頂く、認知して頂くには中華料理店で使用して頂く事も重要であろうと感じていました。既に香港に流通している沖縄食材は多数ありますが、多くは食べ方が分からない、つまり、調理方法が分からないという理由から取扱われる機会を失っている食材も少なくありません。沖縄食材は沖縄料理や日本料理にしか使用できないだけでなく、中華料理にも応用出来るということを知ってもらうため、香港における中華料理の巨匠であるワン・タツコン先生に沖縄食材を使った中華料理を創作して頂き、中華料理店に勤務する先生の弟子を対象に沖縄食材の特徴や使い方をデモンストレーションしながら試食するイベントを開催しました。

ワン先生には上述した Yardbird のシェフ達同様、6 月に沖縄に招聘し、沖縄の食材や文化についても知って頂きました。2 日間のイベントで約 100 名のシェフに会場頂き、沖縄の食材の特徴や調理方法について学んで頂きました。今後もこのようなイベントを継続し、より多くの飲食店に沖縄食材が使用されたいと思います。



中華料理デモンストレーションの様子 (3 枚とも)

7. ビーガンママ沖縄食材を使用したビーガン料理教室

(平成 29 年 1 月 14 日、20 日、23 日)

皆様は「ビーガン」をご存知でしょうか。ベジタリアンはよく耳にするかと思いますが、ビーガンとはベジタリアンの菜食中心に加え更に卵、乳、ラードなど動物由来の食品を一切取らない人々を指します。ビーガン人口はあまり多くありませんが、安心安全な食材を重視するといった観点からビーガンに着目し、沖縄食材を使ったビーガン料理を創作して頂きました。このビーガンも 11 月に沖縄に招聘し、海ぶどう養殖場や畑、沖縄のビーガンレストランを訪問しました。イベント当日は沖縄食材のみならず沖縄視察時の感想も来場者に伝えて頂き、料理をする主婦層に沖縄や沖縄食材の良さを知って頂くことが出来ました。



ビーガン料理教室の様子 (3枚とも)

最後に

当所では、日頃から県内企業、個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。香港市場に関することにつきましては是非お気軽にお問い合わせ下さい。

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail :okinawaopg@bizetvigator.com



沖縄県の 取り組みについて

6次産業化支援事業

『沖縄県6次産業化サポートセンター』 の支援活動について

1 6次産業化とは

6次産業化とは、1次産業（農林漁業）、2次産業（加工）、3次産業（流通・販売）の融合を図ることで、農林水産物等に新たな付加価値を生み出し、新しいビジネスの展開や営業形態を創り出すことで、農山漁村における所得の向上、収益性の改善、雇用の確保に結びつけ、農林漁業の発展と農山漁村の活性化に寄与するものです。1次産業、2次産業、3次産業の、1、2、3を掛けて6になることから、6次産業化といわれています。



図：政府広報オンライン「農林漁業の「6次産業化」とは何か」より転載

2 沖縄県6次産業化サポートセンターとは

沖縄県では、21世紀ビジョンに基づく農林水産業の振興を図るため、亜熱帯性気候や地理的特性、そして多様な地域資源など本県の地域特性を最大限に生かしつつ、農林漁業者自らが生産した農林水産物の加工から流通・販売を展開し、また、他事業者との連携等により農林水産物に付加価値を創出する、いわゆる「6次産業化」の取組を支援することとしています。このため、6次産業化に取り組む、または取り組もうとする農林漁業者等を支援する機関「沖縄県6次産業化サポートセンター」を設置し、6次産業化の取組に関するワンストップサービスによる総合的な支援を行っています。

《サポートセンターにおける主な支援内容》

- (1) プランナーの派遣
- (2) 人材育成研修会の開催
- (3) 個別相談会の実施
- (4) 6次産業化情報の提供

(1) プランナーの派遣

6次産業化に取り組む農林漁業者等の相談内容に応じて、6次産業化プランナー（サポートセンターに登録された6次産業化の専門家）を派遣し、アドバイスをを行います。

(2) 人材育成研修会の開催

6次産業化に取り組む農林漁業者等向けに、事業計画の策定能力やマーケティング能力の向上、また商談や資金調達の方法など6次産業化の事業化に必要なノウハウについて研修会を実施します。

(3) 個別相談会の実施

6次産業化に関わる様々なお困りの点やお悩みに対し、個別に相談の場を設け、問題解決方法や今後の支援内容の提案等のサポートを行います。

(4) 6次産業化情報の提供

各種商談会や交流会（ビジネスマッチングの場）の情報を発信します。

これらの支援を行い、下記の流れで6次産業化を目指す方々をサポートしますので、6次産業化のことなら、どんなことでもご相談下さい。

Step1, 事業の構想を描く

ご自身の3～5年先を見据えた事業計画（加工・直売等）を描いてください。まずは、サポートセンターにご相談ください

Step2, 6次産業化プランナーに相談（派遣）

6次産業化プランナーへ相談し、経営の構想をより具体的な計画に練り上げます

Step3, 『総合化事業計画』※を作成、認定申請を行う

3～5年先の経営計画をまとめた『総合化事業計画』を作成し、沖縄総合事務局で審査後、認定を受けます

Step4, 認定後、計画を実現する

6次産業化プランナーの支援を受けながら、補助や融資などの計画認定のメリットを活かして計画の実現を図ります

※『総合化事業計画』とは

農林漁業経営の改善を図るため、農林漁業者等が農林水産物の生産および加工または販売を一体に行う事業活動に関する計画をいいます。認定後は、プランナーによる総合的サポートや補助事業の導入、融資の活用など、別途審査（申請）が必要ですが、様々なメリットがあります。

■本記事に関するお問合せ先
沖縄県6次産業化サポートセンター
TEL：098-868-1901
（担当：小島、久高）
URL: <http://www.okinawa-6sapo.com/>



特別金利キャンペーン

平成28年10月1日(土)~

平成29年5月31日(水)

県内地銀唯一!
安心の
団体生命保険
つき

特典1

変動金利
最優遇
金利 年2.0%~

特典2

在学中の学校宛
振込手数料が **無料**

(+0.2%で団体信用生命保険の付保が可能です) ※回信付保は、しあわせの教育ローン(証書貸付型)のみ

※(注)対象子弟の預金口座を当行にて作成できる事、または既に口座をお持ちである事が条件です。また、ご融資の際に交付する「特別優待カード」を呈示し、かつ窓口でのお振込に限ります。

(例) 変動金利の場合

基準金利
年2.8%

特別金利 一律 年2.3%(△0.5%)
さらに
右記対象の方は 年2.0%(△0.8%)

沖縄本島から県外進学、離島地域から島外へ進学となる方

当行で住宅ローンをお借入中、または新規お申込みの方

母子・父子家庭または障害手帳をお持ちの方

お借入れ枠設定型
しあわせの合格バンザイ

在学期間中、必要なときに繰り返し使えて便利!

【無担保口】最高500万円まで 【変動金利】年2.8%▶年2.3%
※一部対象の方は年2.0%

【有担保口】最高1,000万円まで

ご利用いただける方
●教育資金を必要とするご本人または保護者
●借入時の年齢が満20歳以上で、完済時の年齢が満70歳以下の方
●安定継続した年収が150万円以上の方
●過去に信用事故のない方
●保証会社の保証が受けられる方

お使いみち
教育資金、中学から大学(院)などの入学金や授業料、また、塾や予備校などの教育資金にもご利用いただけます。

お借入金額
■無担保口: 500万円以内(10万円単位)
■有担保口: 1,000万円以内(10万円単位)
※お1人様1口座とします

お借入期間
●当座貸越期間: 子弟の在学期間中
●証書貸付期間: ■無担保口 当座貸越期間終了後10年以内
■有担保口 当座貸越期間終了後15年以内

変動金利型
●当座貸越期間
…利率見直し後、最初に到来する約定返済日から新利率を適用いたします。

お借入金利(保証料含みます)

お返済方法
●証書貸付期間: 元利均等毎月返済(半年ごとの増額返済併用可)

ご返済方法
●当座貸越期間: ①随時返済 ②約定返済
●証書貸付期間: 元利均等毎月返済(半年ごとの増額返済併用可)

保証人・担保
■無担保口: 原則不要。ただし、①年収計算がある場合、②保証会社が必要と認められた場合は連帯保証人が必要となります。
■有担保口: ①担保提供者と②年収計算者を連帯保証人とさせていただきます。

●預金通帳・預金通帳の届出印鑑
●本人確認書類(運転免許証・パスポート等)
●収入確認書類(所得証明書または源泉徴収票等)
●お勤め先確認資料
●入学・在学確認書類(合格通知書または学生証等)
●資金使途確認書類(学費納付書等)
●資格が確認できる書類(住民票謄本等)
●有担保口は、土地建物の登記簿謄本、公図、印鑑証明書等

ご用意いただくもの(本申し込み時)

親子リレー返済
お子さまの年齢が20歳以上で就職した場合には、お申し出によりお子さまの口座での返済も可能です

手数料
●一部繰上返済した場合…5,400円(税込)
●全額繰上返済した場合…3,240円(税込)
※上記手数料は、上限金額です。

一括お借入れ型
しあわせの教育ローン

教育資金のご利用が一度のみの方!

【無担保口】最高500万円まで 【変動金利】年2.8%▶年2.3%
※一部対象の方は年2.0%

【有担保口】最高2,000万円まで 【固定金利】年3.7%▶年3.2%
※一部対象の方は年2.9%

ご利用いただける方
●教育資金を必要とする子弟の保護者またはご本人
●借入時の年齢が満20歳以上で、完済時の年齢が満70歳以下の方
●安定継続した年収が150万円以上の方
●過去に信用事故のない方
●保証会社の保証が受けられる方
●ご希望により団体信用生命保険の付保が可能です

お使いみち
教育資金、幼稚園から大学、その他各種学校などの入学金や授業料、また、塾や留学費用などの教育資金にもご利用いただけます。

お借入金額
■無担保口: 500万円以内(固定金利・変動金利)
■有担保口: 2,000万円以内(変動金利)
※1万円単位とします

お借入期間
無担保口: 1年以上15年以内(振替期間を含む)
有担保口: 1年以上25年以内(振替期間を含む)

●固定金利型
…借入時のご融資利率、ご返済額は完済時まで変わらず一定です。

お借入金利(保証料含みます)

お返済方法
元利均等毎月返済
(半年ごとの増額返済併用および在学期間中の元金償還可)

ご返済方法
原則不要
※ただし、①年収計算がある場合、②保証会社が必要と認められた場合、
③無担保口の申込額300万円超の場合、④有担保口でお申込以外が担保提供者する場合、連帯保証人が必要となります(ご家族可)。

●預金通帳・預金通帳の届出印鑑
●本人確認書類(運転免許証・パスポート等)
●収入確認書類(所得証明書または源泉徴収票等)
●お勤め先確認資料
●入学・在学確認書類(合格通知書または学生証等)
●資金使途確認書類(学費納付書等)
●資格が確認できる書類(住民票謄本等)

ご用意いただくもの(本申し込み時)

親子リレー返済
お子さまの年齢が20歳以上で就職した場合には、お申し出によりお子さまの口座での返済も可能です。

団体信用生命保険
地銀協団体の付保が可能です(任意)。

手数料
●一部繰上返済した場合…5,400円(税込)
●全額繰上返済した場合…3,240円(税込)
※上記手数料は、上限金額です。

解説 団体信用生命保険にご加入いただくと、借主様になりの事由が生じた場合、本保険金が銀行に対して支払われ、借入残高を全て返済する制度。残されたご家族等に債務の負担が残らず安心です。

詳しくは、りゅうぎん窓口または下記のフリーコールまでお問い合わせください。



0120-38-8689

受付/9:00~22:00
(銀行休業日は除きます。)



入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を実践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

H27. 2.26 森永卓郎氏「トップセミナー」
H27. 6. 3 若手営業担当者向けセミナー
H27. 8. 4 管理職向けリーダーシップセミナー
H27.10.20 経営者層向けセミナー
H28. 2. 2 岩田松雄氏「トップセミナー」
H28. 5.24 「ビジネスに効く！コミュニケーション術とアンガーマネジメント」

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。

※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

・第1期 酒巻 久 キヤノン電子㈱社長
・第2期 鈴木 喬 エステー㈱会長
・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険㈱会長兼CEO
・第4期 宗次 徳二 ㈱志番屋 創業者特別顧問
・第5期 高田 明 ㈱A and Live 代表取締役
(ジャバネットたかた 前社長)

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

・部下をやる気にさせる上司のひと言
・どんな仕事もうまくいく「気づかい」の習慣

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

・「最少時間」で「最高の結果」を出す！
・若手社員向け・簡単な「経営指標」の見方

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年1回ご利用になれます。

■りゅうぎんビジネスサイトによる経営情報等の提供¹

「会員専用サイト」を利用した、タイムリーな各種経営情報の提供をおこなっております。

【内容例】

・産業別ニュース21 ・ビジネスレポート
・経営課題解決ナビ ・ビジネスマッチング

その他のサービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品(ベストサポーター、順風満帆)について、融資金利の優遇を実施しております²。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ
入会申込方法
年会費 20,000円

1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」及び「りゅうぎんビジネスサイト利用申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。

2 入会金は不要です。

3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行コンサルティング営業部内)

TEL:098-860-3817 (担当:比嘉、真栄城)までお願いいたします。

¹ 別途りゅうぎんビジネスサイトへの申込(無料)が必要になります。

² 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

貴社の回収業務の効率化と 顧客満足度の向上をご支援いたします！

回収率 アップ

手軽で便利なコンビニからのお支払い
貴社のお客さまは、土日祝日に関係なく、24時間365日気軽にお支払いいただけますので貴社の料金回収効率が高まります。

コスト 削減

集金事務に要したコストを大幅に削減
貴社は、お客様に払込取扱票を送付するだけで、お客様から回収した資金を貴社ご指定の預金口座に入金しますので、集金事務における人件費等が大幅に削減できます。

すばや い 情報提供

回収情報をすばやくご提供
回収情報を、すばやくご提供しますので消込処理・督促処理等が迅速に実行できます。また、回収資金入金日をお知らせしますので資金計画も立てやすくなります。

事務処理 が楽々

電子データにより消込処理が軽減
回収情報は貴社が設定された顧客番号等を含む電子データでご提供しますので、消込処理の自動化が可能となり、事務負担が大幅に軽減できます。

コンビニ収納サービスで貴社に適した回収業務をサポートします

●コンビニ収納サービスが貴社のお客さまにもたらすメリット

- ・ライフスタイルに合わせて、いつでもどこでもコンビニでお支払いが可能になります。
- ・コンビニでのお支払いが可能になることで、お支払い方法のバリエーションが増えます。
- ・インターネット取引で、クレジットカードをお持ちでない方、カード決済を希望されない方もお支払いできます。

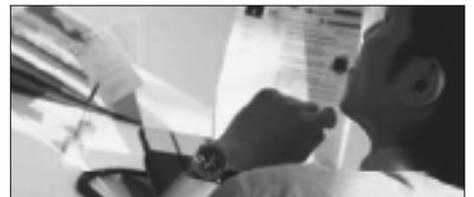
●当行のコンビニ収納サービスの特徴



契約は当行とだけ!
各コンビニと個別に契約いただく必要はございません。



初期投資も最小限で!
情報管理に、専用パソコンソフトや専用Web画面を提供します。



豊富な実績!
様々なノウハウがあるので、円滑にサービスを導入いただけます。

コンビニ収納サービス **スタンダード**

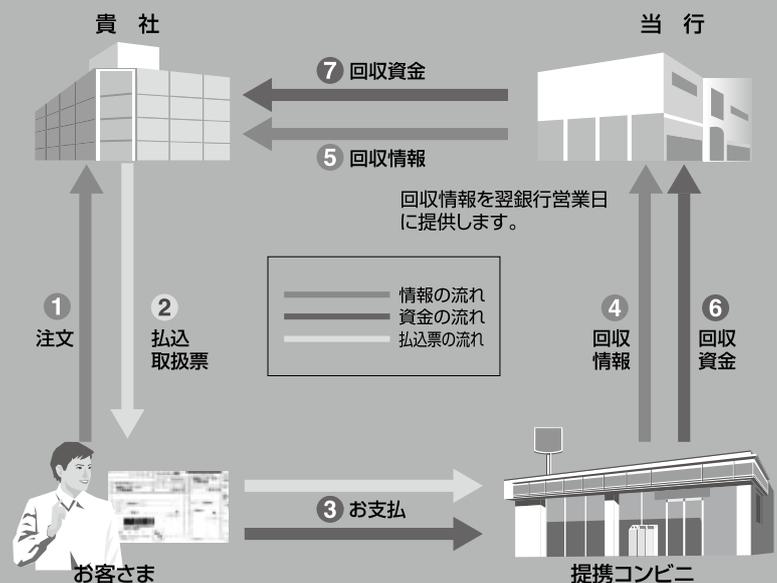
いつでも(24時間365日)どこからでも(日本全国)回収いたします。

販売代金や会費などの各種料金を、貴社に代わって当行が提携する各コンビニ店舗でお客様から回収し、その回収情報(バーコード情報)を貴社に提供します。回収した資金は貴社の預金口座に入金するサービスです。

全国5万6千店舗のコンビニが貴社に代わって回収いたします。

ご利用例

- 塾・予備校・セミナー
授業料、入学金、検定試験受験料、パソコン講習代金、月謝、セミナー代金の回収にご利用いただけます。
- 不動産管理会社
家賃、駐車代金の滞った借主に対する督促を早めるためにご利用いただけます。
- その他
小売業(食品、物販)、通信販売会社、ガス・石油会社、クレジットカード会社、新聞販売会社、出版会社 等



本件に関するお問い合わせ先

株式会社琉球銀行
営業推進部 公務グループ 塩崎

TEL

098-860-3470

受付時間 【平日】AM 9:00 ~ PM 5:00

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について 環境ビジネスの振興について

沖縄総合事務局経済産業部では、環境ビジネスを展開する中小企業等の広域連携を深化させることにより、新たな事業の創出・展開を目的としたビジネスマッチングイベントを毎年開催しています。

平成28年度は「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー in 沖縄」として、平成28年12月に沖縄セルラーパーク那覇において開催されましたので、概要を報告いたします。

1 セミナー概要

開催日：平成28年12月13日（火）
場 所：沖縄セルラーパーク那覇
（第7回オキナワベンチャーマーケット会場内）
参加企業：県外3社、県内2社

2 プログラム等

はじめに、特別講演として特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター 統括コーディネーター 阿藤 崇浩氏に、主に近畿地域における環境ビジネスの連携に係る取組事例等をご紹介頂きました。

講演後は、県外企業3社と県内企業2社の環境関連企業による自社の商品や技術等のプレゼンテーションが行われました。

併せて、参加企業の出展ブースにおいては、県内企業等との個別商談等が行われました。

【参加企業とアライアンスの提案内容】

企業名（所在地）	アライアンスの提案内容
丸和バイオケミカル株式会社 （東京都）	日本初新系統バミューダグラス「美ら緑」（芝種苗）で簡便で効果的な緑化を行えかつ芝刈りの回数を減らすことが出来る。
東洋スクリーン工業株式会社 （奈良県）	ウェッジワイヤースクリーン（5μm～50μm）を用いた固液分離装置等
株式会社西部技研 （福岡県）	高濃度CO ₂ 分離回収装置ハニカムロータを用いた世界初の高濃度CO ₂ 分離回収装置
沖縄スマートアイランドプロジェクト（沖縄県）	エネルギー使用合理化のオーダーメイドサービス
株式会社リュウクス （沖縄県）	コンクリート混和材「加熱改質フライアッシュ」によるコンクリート構造物の耐用年数の向上

3 マッチング件数等

マッチング件数：7件（事前申込みベース）
主なマッチング事例：
CO₂回収装置製造企業 ↔ 産業ガス取扱企業
固液分離装置企業 ↔ 濁水処理設備製造企業

会場では事前申込みのあった商談とは別に当日来場者との商談が偶発的に行われるなど、充実したビジネスマッチングとなりました。



セミナーの様子



個別商談の様子

なお、環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーは、広域連携を目的として関東、近畿、九州等でも開催されています。平成29年度も順次展開予定で、沖縄については今年度と同様に平成29年12月を予定しております。

 内閣府沖縄総合事務局
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて
内閣府沖縄総合事務局経済産業部環境資源課

TEL：098-866-1757

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

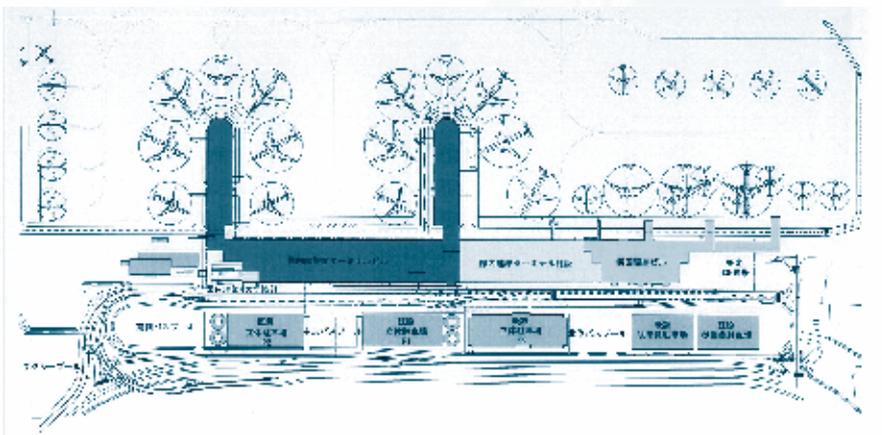
県内大型プロジェクトの動向

事業名：**那覇空港際内連結ターミナル施設建設工事**
那覇空港国内線旅客ターミナルビル第4次増築工事
 種別：公共 **民間** 3セク

関係地域	那覇市
事業主体	主体名：那覇空港ビルディング株式会社 所在地：那覇市字鏡水150番地 電話 098-840-1170
事業目的	【那覇空港際内連結ターミナル施設建設工事】 増大する航空需要に対して国際線及び国内線の受入環境を整備するため、国際線旅客ターミナルビルと国内線旅客ターミナルビルを増築して連結することにより、航空会社の機能施設の拡張と商業施設の充実、ターミナルビル内の移動環境の向上を図ることを目的とする。 【那覇空港国内線旅客ターミナルビル第4次増築工事】 国内線旅客ターミナルビルを一部南側に増築し、航空会社の専用施設等の確保を図ることを目的とする。
事業期間	際内連結ターミナル施設建設：平成27～30年度 国内線旅客ターミナルビル増築：平成27～29年度
事業規模	際内連結ターミナル施設建設：延床面積約39,000㎡ 国内線旅客ターミナルビル増築：延床面積約1,000㎡
事業費	未定
事業概要	【那覇空港際内連結ターミナル施設建設工事】 建築面積：約13,000㎡ 延床面積：約39,000㎡ 構造：鉄筋コンクリート造、一部プレストレストコンクリート造 階数：地上5階／地下なし 基本機能：1階－バスラウンジ 2階－国内線搭乗待合室、店舗 3階－国内線及び国際線チェックインロビー、店舗 4階－店舗 附属設備：旅客搭乗橋設備2スポット分、手荷物搬送設備、フライトインフォメーション設備等 ※平成30年12月に建物引渡しを受け、年度内に供用開始する見込みである。 【那覇空港国内線旅客ターミナルビル第4次増築工事】 建築面積：約330㎡ 延床面積：約1,000㎡ 構造：鉄筋コンクリート造 階数：地上3階／地下なし 基本機能：1階－事務室 2階－有料待合室等 3階－事務室 ※平成30年2月に建物引渡しを受け、3月には供用開始する見込みである。
経緯	平成27年 事業計画 平成28年 基本設計・実施設計 平成29年 工事着工

<p>現状及び見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年2月に新国際線旅客ターミナルビルが供用開始されて以降、那覇空港国際線旅客数は、平成26年度に約163万人、平成27年度に約250万人と伸び続けている。 ・政府は訪日外国人4,000万人を目標に環境整備を加速化しており、沖縄県も新規路線開設に向けて積極的に取り組む中で、那覇空港国際線は今後も引き続き需要が増える見通しである。 ・際内連結ターミナル施設の完成によって、国際線チェックインカウンターは現状と比べて3倍の規模に拡張されるため、国際線の受入環境は大幅に改善する。 ・那覇空港国内線旅客数は、平成24年に国内LCCが那覇空港に就航して新たな旅客需要が掘り起こされ、平成25年度は約1,520万人、平成26年度は約1,590万人、平成27年度は約1,600万人と堅調に伸び続けている。 ・際内連結ターミナル施設の完成によって国内航空会社の受入環境が整備されるほか、国際線と国内線またはモノレール駅といった空港内の主要施設間の移動環境が改善されるため、旅客の利便性が大幅に向上する。
<p>進捗状況</p>	<p>【那覇空港際内連結ターミナル施設建設工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年1月に工事着工し、現在基礎工事を行っているところ。 <p>【那覇空港国内線旅客ターミナルビル第4次増築工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に工事着工予定。
<p>熟度</p>	<p><input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>

全体工事概要図(那覇空港ビルディング株式会社提供)



際内連結ターミナル施設完成予想図(那覇空港ビルディング株式会社提供)



県内大型プロジェクトの動向

事業名：**那覇空港新立体駐車場建設工事**
那覇空港立体連絡通路建設工事
 種 別：公共 **民間** 3セク

関係地域	那覇市
事業主体	主体名：那覇空港ビルディング株式会社 所在地：那覇市字鏡水150番地 電話 098-840-1170
事業目的	【那覇空港新立体駐車場建設工事】 那覇空港駐車場の慢性的な混雑を解消するため、立体駐車場を建設し、駐車場の収容台数を確保することを目的とする。 【那覇空港立体連絡通路建設工事】 立体駐車場の建設にあわせて、新立体駐車場と国内線及び国際線旅客ターミナルビルを繋ぐ立体連絡通路を建設し、利用者の利便性の向上を図ることを目的とする。
事業期間	新立体駐車場建設：平成26～28年度 立体連絡通路建設：平成26～28年度
事業規模	新立体駐車場建設：延床面積約29,600㎡ 立体連絡通路建設：延床面積約1,800㎡
事業費	約38億円
事業概要	【那覇空港新立体駐車場建設工事】 建築面積：約6,000㎡ 延床面積：約29,600㎡ 構 造：鉄骨造 階 数：地上5階 収容台数：1,226台 【那覇空港立体連絡通路建設工事】 建築面積：約1,800㎡ 延床面積：約1,800㎡ 構 造：鉄骨造 階 数：地上2階
経 緯	平成26年度 事業計画・基本設計・実施設計 平成27年4月 工事着工 平成27年12月 駐車場第1期分（南棟）供用開始 平成28年7月 立体連絡通路供用開始 平成28年9月 駐車場第2期分（北棟）供用開始
現状及び見直し	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年12月に立体駐車場P3南棟を先行して供用開始し、平成28年9月には北棟も完成して全面供用開始された。 立体駐車場P3供用によって、那覇空港駐車場の慢性的な混雑は大幅に改善された。 また、立体連絡通路の供用によって、構内道路を横断せずに駐車場とターミナルビル間を移動することが可能になった他、国内線と国際線の両ターミナルビル間の通行も立体連絡通路を利用することができるため、雨天時の移動環境が大幅に改善された。
進捗状況	供用開始済み
熟 度	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input type="checkbox"/> 工事段階 <input checked="" type="checkbox"/> 開業・供用段階

新立体駐車場(立体駐車場P3)(那覇空港ビルディング株式会社提供)



立体連絡通路(那覇空港ビルディング株式会社提供)



●りゅうぎん調査● 県内の

景気
動向
概況 2016年12月

景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

12月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店はお歳暮や年末年始関連商材の売上が増加したことから前年を上回り、スーパーはお歳暮ギフトやクリスマス関連商材の売上が好調だったことから前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は小型乗用車でレンタカー需要の反動減がみられ前年を下回り、電気製品卸売はエアコンや洗濯機などの主要家電が伸長したことから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから前年を上回った。建築着工床面積(11月)は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回り、新設住宅着工戸数(11月)は持家、貸家、分譲が減少したことから前年を下回った。建設受注額は、公共工事は減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は51カ月連続で前年を上回った。国内客は9カ月連続で前年を上回り、外国客は2カ月ぶりに前年を上回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊客室単価ともに前年を上回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

消費関連

百貨店売上高は、お歳暮ギフトや年末年始関連商材の売上が増加したことなどから3カ月ぶりに前年を上回った。スーパー売上高は、衣料品は、冬物衣料の動きが鈍かったことなどから減少したが、食料品は、お歳暮ギフトやクリスマス関連商材などの売上が好調だったことから増加し、21カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、小型乗用車で前年のレンタカー需要の反動減がみられたことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。電気製品卸売販売額は、エアコンや洗濯機など主要家電の販売が伸長したことなどから2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことなどから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積(11月)は、居住用、非居住用ともに減少したことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数(11月)は、給与は同数だったが、持家、貸家、分譲は減少したことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことなどから、2カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは前年を上回り、生コンは公共工事向け出荷の減少などにより前年を下回った。鋼材は単価の低下などから前年を下回り、木材は住宅関連工事向け出荷の減少などから前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、51カ月連続で前年を上回った。国内客は9カ月連続で前年を上回り、外国客は2カ月ぶりに前年を上回った。外国客は空路利用客は増加したが、大型クルーズ船の寄港回数減少により海路利用客は減少した。方面別に寄与度でみると韓国、台湾は増加となり、中国本土、香港は減少となった。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊客室単価ともに前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月ぶりに前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに5カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、春節などによりアジア方面からの外国客の旺盛な旅行需要を背景に、好調に推移するものとみられる。

雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比9.2%増となり2カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、情報通信業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.02倍と、前月と同水準だった。完全失業率(季調値)は3.5%と前月より0.9%ポイント改善した。

消費者物価指数(総合)は、食料や教養娯楽などの上昇により、前年同月比0.7%増と3カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が3件で前年同月を4件下回った。負債総額は2億円となり、前年同月比78.2%の減少だった。

2016.12 りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2016.10-2016.12)
消費関連		
(1) 百貨店(金額)	3.1	▲ 1.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	1.4	2.6
(3) スーパー(全店)(金額)	1.6	2.8
(4) 新車販売(台数)	▲ 4.4	1.7
(5) 電気製品卸売(金額)	2.4	▲ 1.5
建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	25.1	2.9
(2) 建築着工床面積(m ²)	(11月) ▲ 18.6	(9-11月) 6.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(11月) ▲ 19.1	(9-11月) 13.9
(4) 建設受注額(金額)	▲ 11.6	▲ 3.8
(5) セメント(トン数)	5.8	▲ 2.7
(6) 生コン(m ³)	▲ 1.3	▲ 2.8
(7) 鋼材(金額)	▲ 6.1	▲ 4.1
(8) 木材(金額)	▲ 8.0	▲ 3.4
観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	8.1	7.8
うち外国客数(人数)	6.9	14.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 3.4 (実数) P 66.7	(前年同期差) P 1.2 (実数) P 75.5
(3) " 売上高(金額)	P 5.8	P 3.5
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 4.2	P 0.7
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	0.3	▲ 3.7
(6) " 売上高(金額)	0.4	▲ 4.4
その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	9.2	5.8
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.02	(実数) 1.01
(3) 消費者物価指数(総合)	0.7	0.5
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 4	(前年同期差) ▲ 7
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(11月) ▲ 1.8	(9-11月) 0.5

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

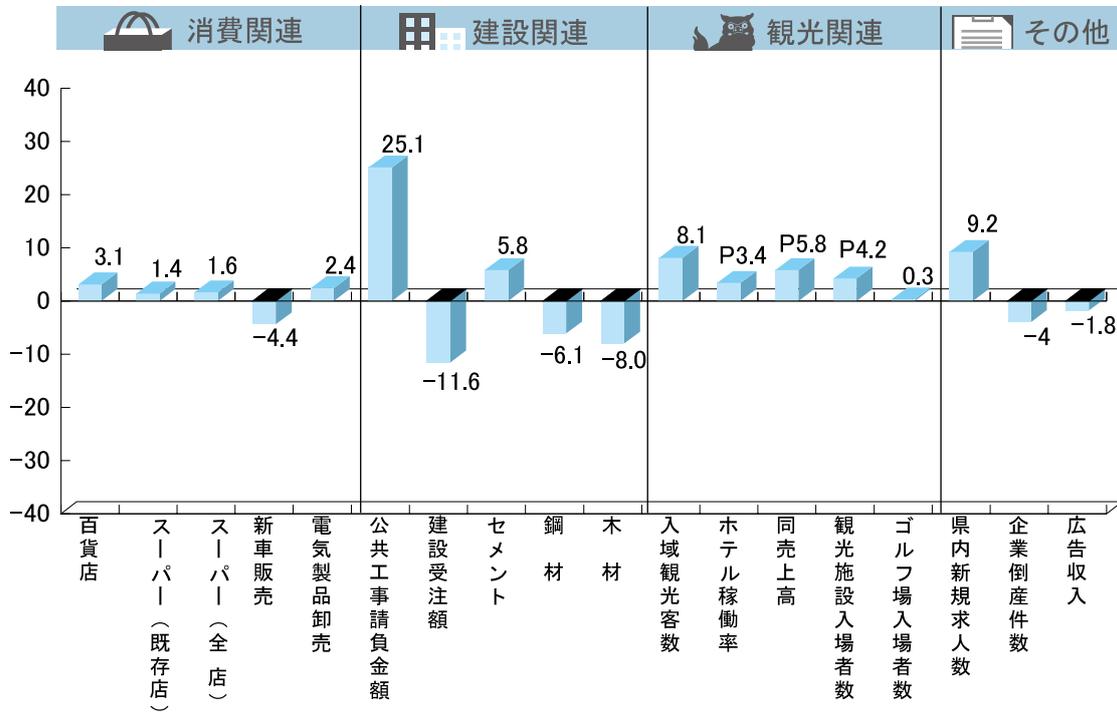
消費関連

建設関連

観光関連

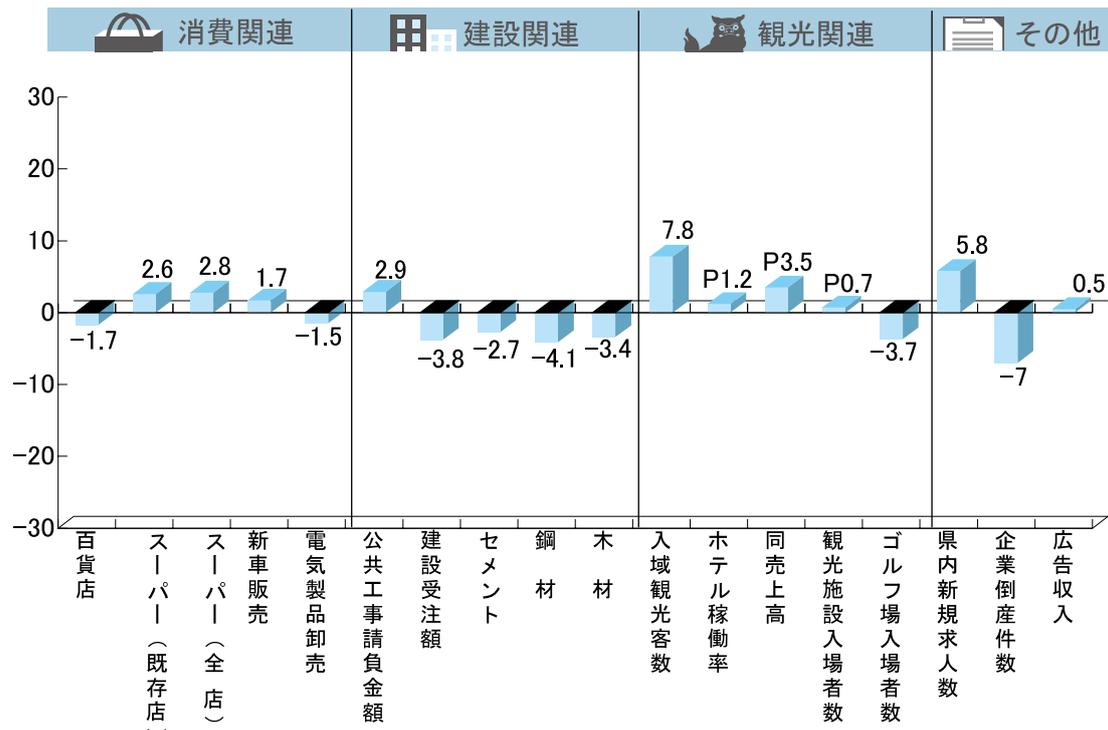
その他

項目別グラフ 単月 2016.12



(注) 広告収入は16年11月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2016.10~2016.12



(注) 広告収入は16年9月~16年11月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

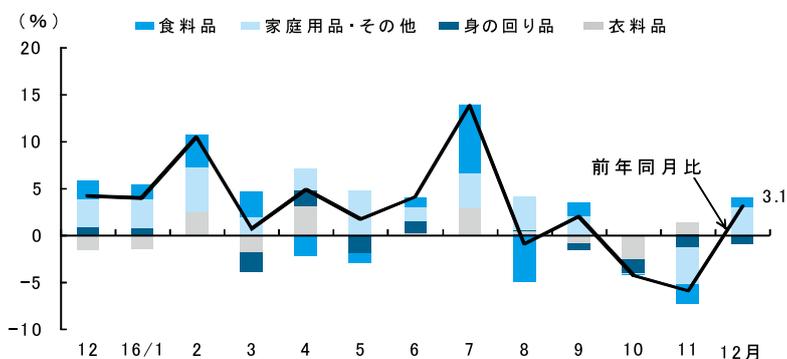
消費関連

① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

3カ月ぶりに増加

- 百貨店売上高は、前年同月比3.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。食料品はお歳暮ギフトや年末年始関連商材などの売上が好調だったことから増加したが、衣料品は呉服を含むその他衣料品や子供服などの動きが鈍く減少した。身の回り品は前年に開催した販売会が無かった反動から減少し、家庭用品・その他は、雑貨や外商の売上が伸長したことなどから増加した。
- 品目別にみると、衣料品(同0.2%減)、身の回り品(同9.6%減)は減少したが、食料品(同3.0%増)、家庭用品・その他(同11.2%増)は増加した。

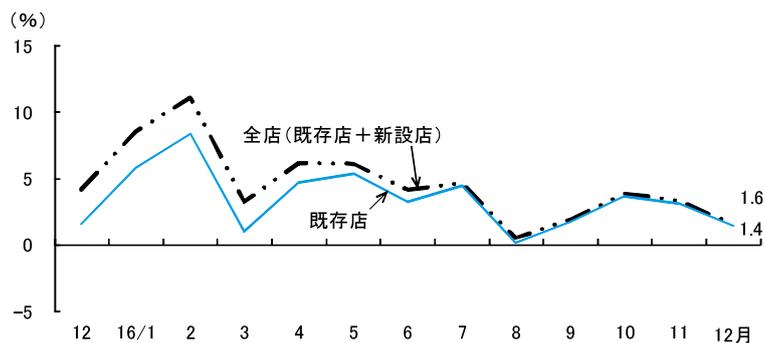


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。
出所:りゅうぎん総合研究所

② スーパー売上高 (前年同月比)

全店ベースは21カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比1.4%増と21カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、お歳暮ギフトやクリスマス関連商材、価格高騰の影響により青果の売上が増加したことなどから同2.2%増となった。衣料品は、気温高の影響や先月開催のセールで需要が前倒しになった反動などにより冬物衣料の需要が減少したことなどから同2.1%減だった。家電を含む住居関連は、寝具などの季節商品の動きが鈍かったことなどから同0.2%減となった。
- 全店ベースでは1.6%増と21カ月連続で前年を上回った。



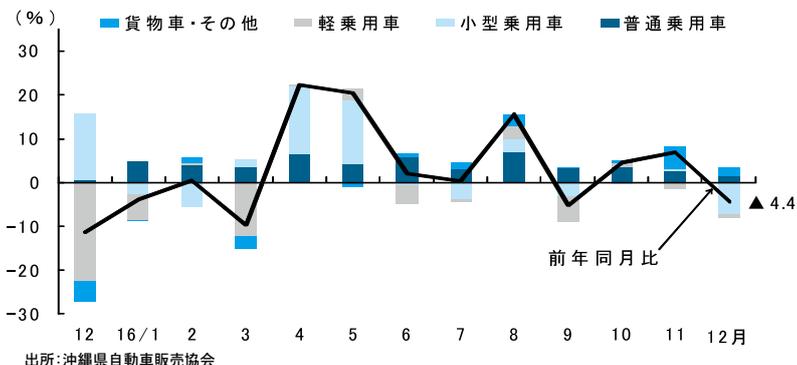
出所:りゅうぎん総合研究所

③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

3カ月ぶりに減少

- 新車販売台数は3,799台となり、前年同月比4.4%減と3カ月ぶりに前年を下回った。普通乗用車は好調を維持し前年を上回ったが、小型乗用車は前年に伸長したレンタカー需要の反動などから前年を下回った。軽乗用車は自家用車需要の減少などから前年を下回った。
- 普通自動車(登録車)は2,133台(同5.8%減)で、うち普通乗用車は492台(同14.7%増)、小型乗用車は1,298台(同17.9%減)であった。軽自動車(届出車)は1,666台(同2.5%減)で、うち軽乗用車は1,375台(同2.1%減)であった。



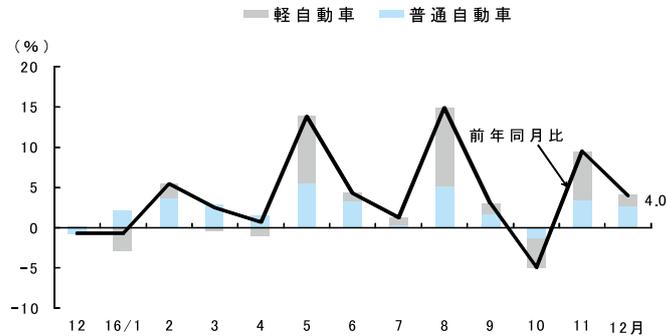
出所:沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月連続で増加

- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万7,117台で前年同月比4.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は6,925台(同6.7%増)、軽自動車は10,192台(同2.3%増)となった。



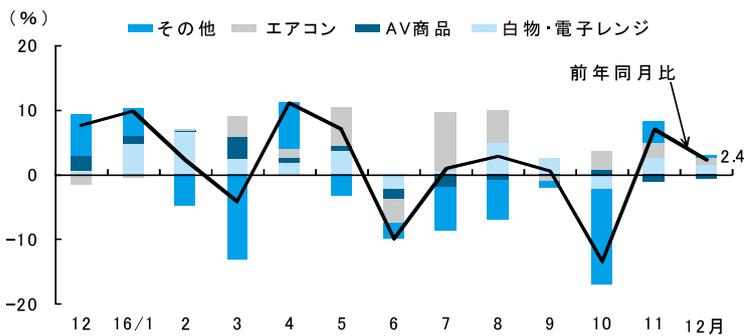
出所:沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 電気製品卸売販売額(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

2カ月連続で増加

- ・電気製品卸売販売額は、エアコンや洗濯機など単価の高い商品の販売が好調で主要家電が伸ばしたことなどから前年同月比2.4%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではDVDレコーダーが同33.6%増、テレビが同13.4%減、エアコンが同23.3%増、白物では洗濯機が同16.3%増、冷蔵庫が同2.9%増、太陽光発電システムを含むその他は同0.7%増となった。



出所:りゅうぎん総合研究所

消費
関連

建設
関連

観光
関連

その他

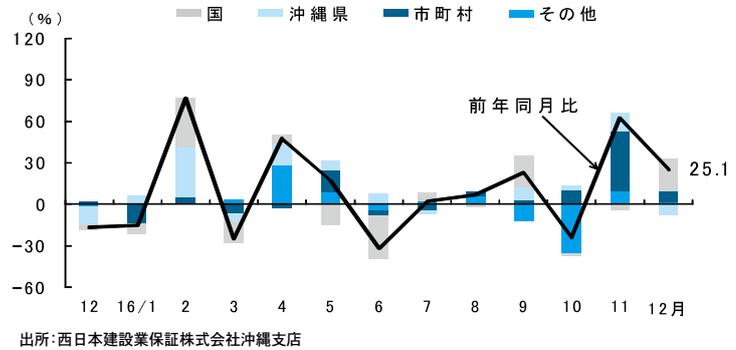
建設関連

① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月連続で増加

- ・公共工事請負金額は、239億2,000万円で前年同月比25.1%増となり、国、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、国(同118.6%増)、市町村(同15.6%増)、独立行政法人等・その他(同35.5%増)は増加し、県(同31.2%減)は減少した。
- ・大型工事としては、那覇空港滑走路増設4工区埋立工事や南城市庁舎等複合施設新築工事(建築・1工区)などがあつた。

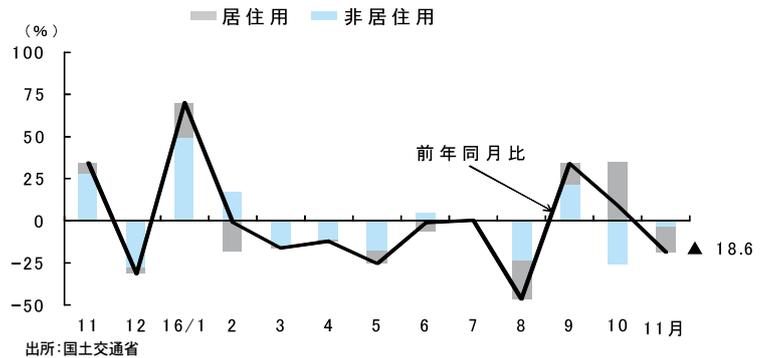


② 建築着工床面積(再掲)

※棒グラフは用途別寄与度

3カ月ぶりに減少

- ・建築着工床面積(11月)は15万559㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比18.6%減となり、3カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同28.7%減、非居住用は同7.6%減となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用、居住専用準住宅、居住産業併用の全ての項目で減少した。非居住用では、製造業用などが増加し、医療、福祉用などが減少した。

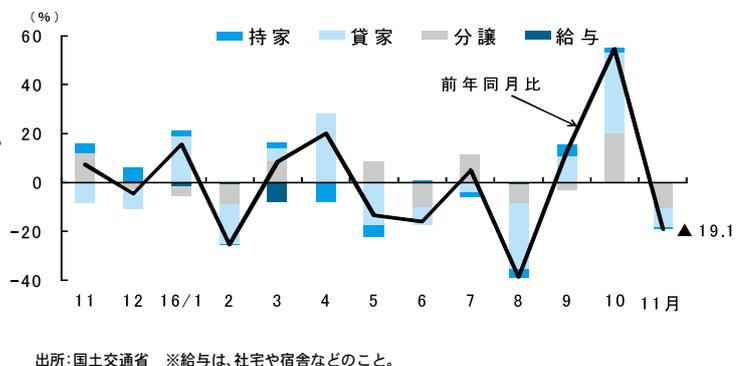


③ 新設住宅着工戸数(再掲)

※棒グラフは利用関係別寄与度

3カ月ぶりに減少

- ・新設住宅着工戸数(11月)は1,057戸となり、給与は同数となったが、持家、貸家、分譲は減少したことから、前年同月比19.1%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家(242戸)が同4.3%減、貸家(715戸)が同12.4%減、分譲(94戸)が同59.3%減と減少し、給与(6戸)が同数となった。

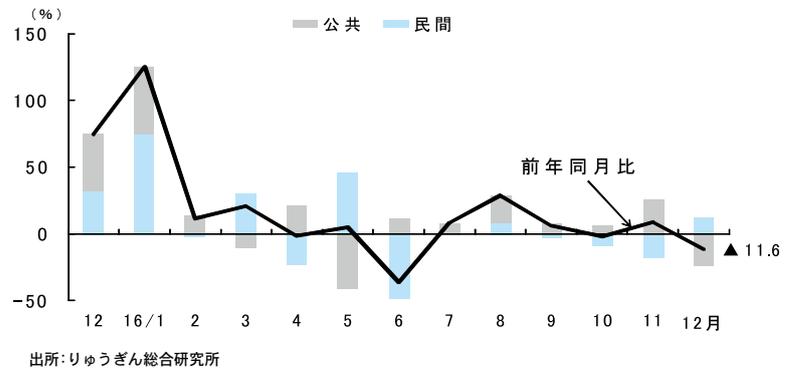


④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月ぶりに減少

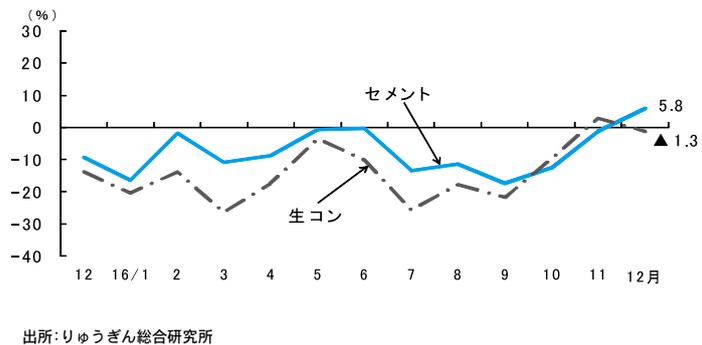
- ・建設受注額(調査先建設会社:20社)は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから、前年同月比11.6%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事(同56.4%減)は7カ月ぶりに減少し、民間工事(同21.6%増)は4カ月ぶりに増加した。



⑤ セメント・生コン(前年同月比)

セメントは15カ月ぶりに増加、生コンは2カ月ぶりに減少

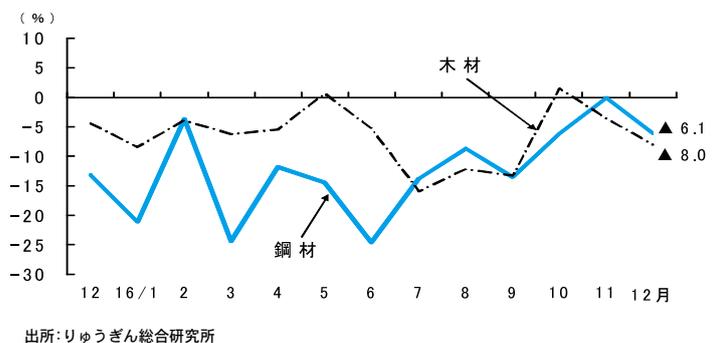
- ・セメント出荷量は9万817トンとなり、前年同月比5.8%増と15カ月ぶりに前年を上回った。
- ・生コン出荷量は15万9,914m³で同1.3%減となり、公共工事向け出荷の減少などから2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、橋梁関連工事向け出荷などが増加し、防衛省や空港関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、戸建住宅向け出荷などが増加し、医療関連や貸家工事向け出荷などが減少した。



⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

鋼材は24カ月連続で減少、木材は2カ月連続で減少

- ・鋼材売上高は、受注工事の進捗に動きがみられるものの、単価の低下などから前年同月比6.1%減と24カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少などから同8.0%減と2カ月連続で前年を下回った。



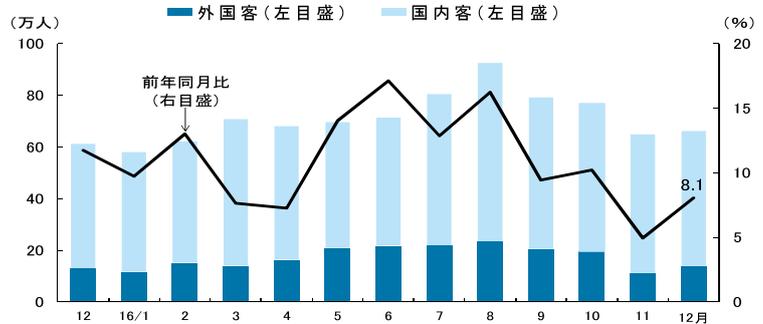


観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

12月の過去最高を更新、51カ月連続で増加

- ・入域観光客数は、前年同月比8.1%増の66万3,000人と、51カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同8.3%増の52万5,800人となり9カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は62万9,800人(同10.2%増)と51カ月連続で前年を上回った。海路はクルーズ船の寄港回数が減少し3万3,200人(同21.1%減)と2カ月連続で前年を下回った。

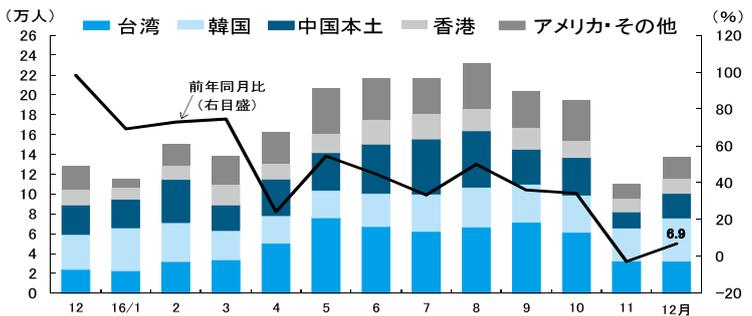


出所:沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

2カ月ぶりに増加

- ・入域観光客数(外国客)は、航空路線の拡充で空路利用客は増加したことから、前年同月比6.9%増の13万7,200人となり、2カ月ぶりに前年を上回った。海路利用客は中国本土および香港からの大型クルーズ船の寄港回数が減少したことから、2カ月連続で減少した。
- ・国籍別では、韓国4万3,600人(同24.2%増)、台湾3万2,100人(同33.8%増)、中国本土2万4,900人(同16.4%減)、香港1万4,800人(同7.5%減)、アメリカ・その他2万1,800人(同6.8%減)であった。

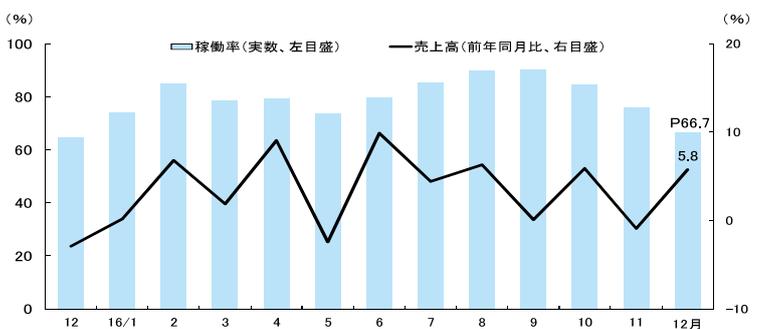


出所:沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率は5カ月連続で上昇、売上高は2カ月ぶりに増加

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は66.7%となり、前年同月比3.4%ポイント上昇し5カ月連続で前年を上回った。売上高は同5.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、客室稼働率は76.2%と同4.3%ポイント上昇し2カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同7.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は62.0%と同3.0%ポイント上昇して5カ月連続で前年を上回り、売上高は同4.9%増と7カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

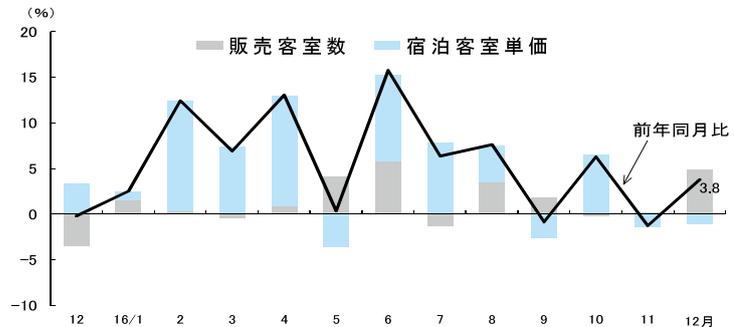
消費関連
建設関連
観光関連
その他

④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

2カ月ぶりに増加

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入(速報値)は、販売客室数(数量要因)は増加、宿泊客室単価(価格要因)は低下となり、前年同月比3.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、販売客室数は増加、宿泊客室単価は上昇し、同10.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数は増加、宿泊客室単価は低下し、同1.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

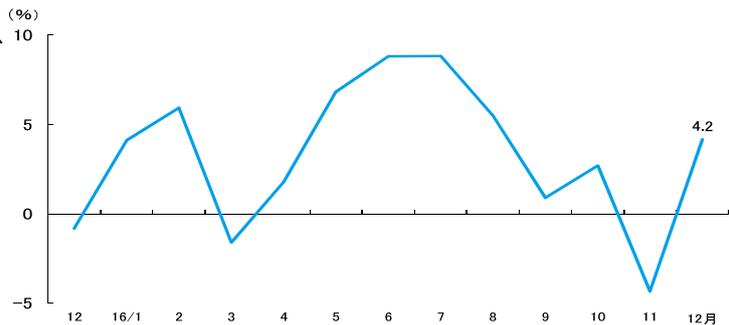


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

2カ月ぶりに増加

- ・主要観光施設(速報値)の入場者数は、前年同月比4.2%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。



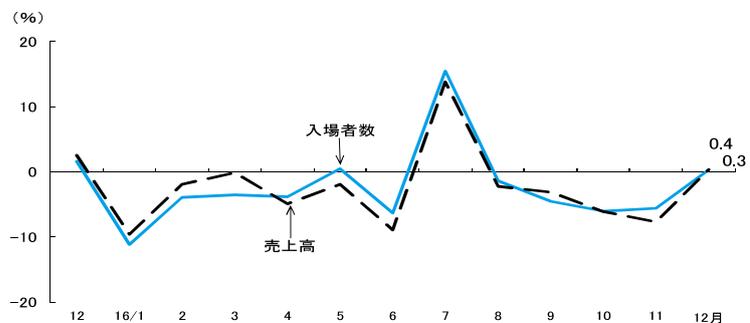
出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

入場者数、売上高ともに

5カ月ぶりに増加

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比0.3%増と5カ月ぶりに前年を上回った。県内客は前年並みとなったが、県外客が前年を上回った。
- ・売上高は同0.4%増と5カ月ぶりに前年を上回った。



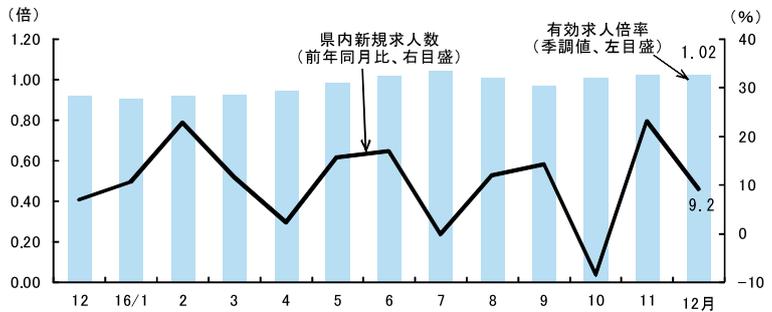
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

雇用関連・その他

① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は同水準

- ・新規求人数は、前年同月比9.2%増となり2カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、情報通信業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.02倍と、前月と同水準だった。
- ・労働力人口は、72万2,000人で同3.0%増となり、就業者数は、69万9,000人で同5.0%増となった。完全失業者数は2万3,000人で同34.3%減となり、完全失業率(季調値)は3.5%と前月より0.9%ポイント改善した。



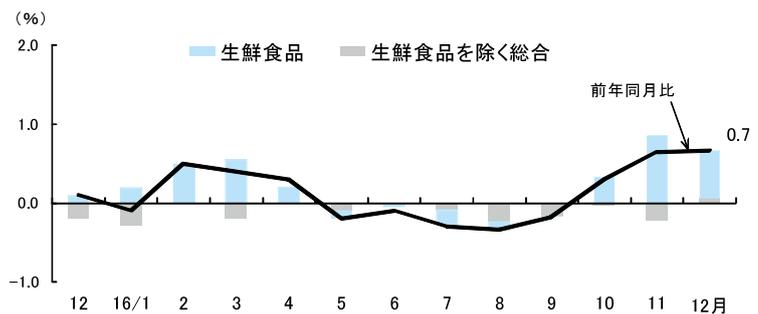
出所：沖縄労働局
 (注)有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

3カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.7%増と3カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同0.1%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、食料や教養娯楽などが上昇し、光熱・水道などは下落した。

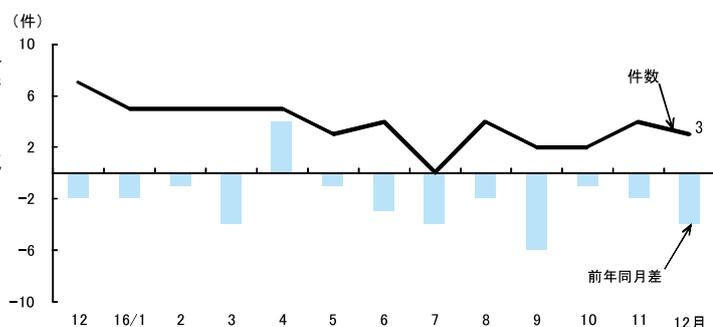


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。
 (注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

③ 企業倒産

件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、3件で前年同月を4件下回った。業種別では、製造業1件(同数)、情報通信業1件(同数)、サービス業(同1件増)であった。
- ・負債総額は、2億円となり、前年同月比78.2%の減少だった。



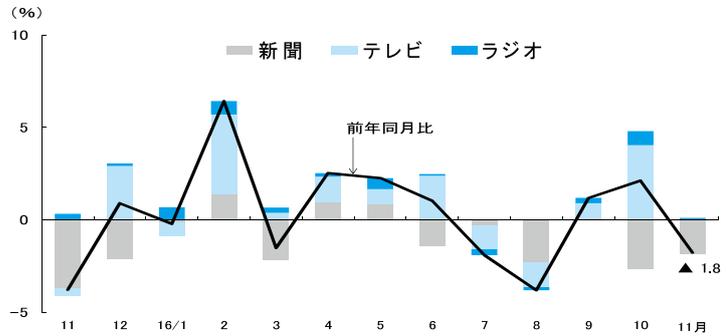
出所：東京商工リサーチ沖縄支店
 (注)負債総額1,000万円以上

④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

3カ月ぶりに減少

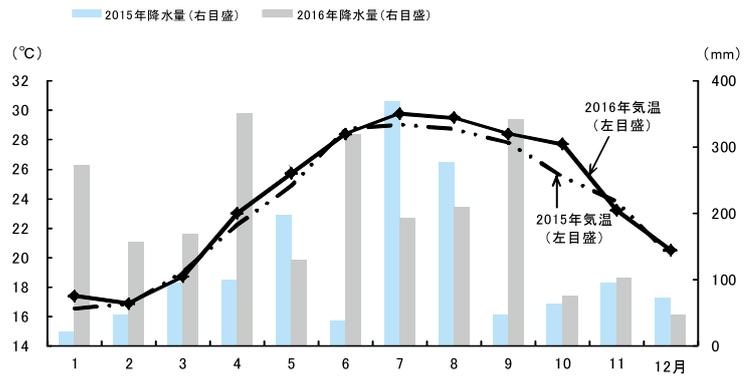
・広告収入(マスコミ:11月)は、前年同月比1.8%減となり、3カ月ぶりに前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は20.5℃となり、平年(18.7℃)、前年同月(20.1℃)より高かった。降水量は47.5mmと前年同月(73.0mm)より少なかった。
- ・沖縄地方は、曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。大陸からの寒気の影響が弱かったため、12月の平均気温は統計を開始した1946年以来1位タイの記録となった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並みだった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



成年後見制度

高齢者の財産 法的支援

琉球銀行審査部管理課
城間 みゆき

日本は人口のおよそ3割が65歳以上といわれます。沖縄県はその割合が2割にとどまっているものの、全国と同様に割合は増え続けています。

高齢化社会の進展を背景に、預貯金の管理や不動産の契約、遺産分割協議などで対処に困るケースが増えてきています。例えば、高齢者が突然倒れてしまい、家族が本人に代わって口座から現金を引き出したいくても、すぐにはできずに困ってしまうケース。相続人の1人が高齢で判断能力を欠くため、相続登記に必要な遺産分割協議を進めることが困難になるケースなどです。

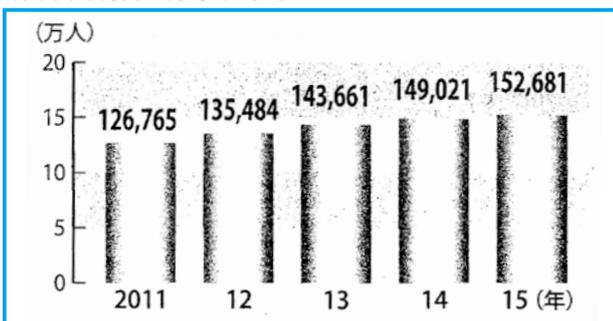
このような高齢者を保護・援助するために、最近では「成年後見制度」が多く利用されるようになりました。昨年の利用者数は、15万2千人となっています。

成年後見制度とは、認知症や精神障害などで物事を判断する能力が十分でない方に対して、権利を守る援助者に付いてもらい法的に支援する制度です。その役割は、本人の意思を尊重し心身の状態や生活状況に配慮しながら、本人に代わって財産を管理したり、必要な契約を結んだりすることで本人を保護・支援することにあります。

昨年は「成年後見制度の利用促進に関する法律」や「成年後見の事務の円滑化を図るための民法及び家事事件手続法の一部を改正する法律」が施行されました。

預貯金や不動産などの大切な財産を守っていくためにも、成年後見制度を身近な制度として把握しておくことが大切です。

成年後見制度の利用者の推移



出所 内閣府「成年後見制度利用促進委員会事務局」より作成



坐禅のススメ

ストレスを軽減で人気

琉球銀行 若狭支店長
玉城 政弥

日頃のストレスへの対処方法として、ビジネスマンを中心に坐禅が静かなブームを呼んでいるようです。坐禅とは「静座して沈思・黙念し、無心の境に入る行法」(広辞苑)とあります。仏教宗派のなかでも、特に禅宗と呼ばれる宗派(曹洞宗・臨済宗など)で重要な修行と位置づけられています。

その方法は、あぐらをかいた状態から、右足を左太もものつけ根に、左足を右足の上に乗せます。手は、右の手のひらを上にして組んだ足の上に置き、左手をその上に乗せ、左右の親指を軽く合わせます。背筋を伸ばして姿勢を整え、ゆっくりと呼吸を続けながら、心を整えていきます。その間、目は閉じるのではなく、「半眼」といって視線をやや落としながら、ぼんやりと見る状態にします。

東京都内の禅寺では、ビジネスマンやOLを中心に出勤前の時間を利用した朝の坐禅が行われているところがあります。禅僧が基本から丁寧に指導するので、気軽に参加できるのが特徴です。「ストレスが軽減できる」「集中力が鍛えられる」などの効果があるようです。

元アップル社CEOのスティーブ・ジョブズ氏が坐禅を実践していたことはよく知られていますが、それを機に欧米では、生産性や創造性の向上を目的に社内研修に坐禅を取り入れている企業も出てきています。

ストレスを抱えやすい現代人にとって、坐禅は心身の安定を保つ有効な対処法になっているようです。

頭のとっぺんを天井から
つるされているような
イメージで、ヘソのあたりを
クツと立てるようにします。





クレジットカード

利用手数料 業務収益に

琉球銀行総合企画部調査役
是枝 玲緒奈

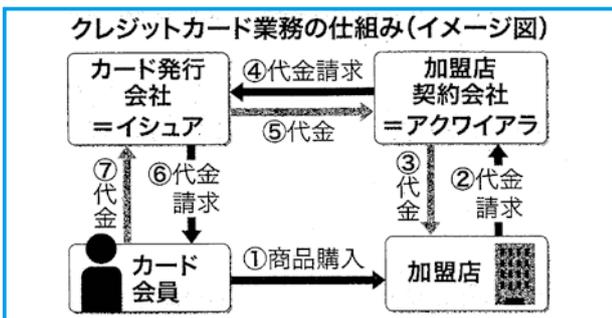
銀行の付随業務として取り扱いが可能なクレジットカードについて、その業務の仕組みをお話します。

国際的なシステムインフラを持ち、世界で使用できるブランドを「国際ブランド」といいます。国際ブランドは、VISA、MasterCard、JCB、American Express、Diners Clubの五つです。

国際ブランドのライセンスを取得し、カードの発行業務を行う会社をイシューと呼んでいます。イシューの業務をイシューングといい、カード会員の募集、会員に対する与信、カード発行、カード利用代金の会員への請求などを行います。イシューは自社カード会員がカードを利用した際に、一定の手数料を得ることができます。これをインターチェンジフィー(IRF)といいます。

一方、カードを利用できるお店(加盟店)と加盟店契約を締結する会社をアクワイアラと呼んでいます。アクワイアラの業務をアクワイアリングといい、カード加盟店の募集、カードが利用できる環境の整備(端末設置)、カード売上代金の加盟店への支払いなどを行います。このアクワイアリングを行うためにも、国際ブランドのライセンスが必要です。アクワイアラは、売上代金(カード決済分)に対する加盟店手数料を得ることができます。

このようにカード業務には大きく分けてイシューングとアクワイアリングの二つがあり、カード業界における収益の両輪となっています。



企業再生と戦略策定

勝ちパターン考えよう

琉球銀行法人営業部
棚原 武昭

再生ステージにある企業の価値を引き上げ、再び事業の継続が可能な状態にするための取り組みとして、①戦略の見直し②オペレーションの改善③ファイナンスのテコ入れ—などがあります。実際には、複数の取り組みを講じながら企業価値を高めていきますが、ここでは①の戦略の見直しに焦点をあてて説明します。

「戦略の見直し」とは、どの事業領域で、どのようなポジションをねらって、どう勝つか、といった「勝ちパターン」を考えることといわれます。その際に有用な手法の一つとして「ファイブフォース分析」があります。アメリカの経営学者マイケル・ポーター氏が提唱したもので、業界分析を軸にした戦略策定の手法です。

同手法は、五つの競争要因を通して業界の競争構造や収益構造を把握して自社の「勝ちパターン」を考え、戦略を策定します。五つの競争要因とは、①供給者の交渉力②購買者の交渉力③競争企業間の競合状態④新規参入業者の脅威⑤代替品の脅威—です。

例えば自動車製造業界は、企業同士の激しい競争と供給者の交渉力が強い一方で、新規参入や代替品の脅威は比較的弱いとみられています。テレビ製造業界は、価格の安い海外製品が新規参入してきたために、収益が出にくい構造になっています。

戦略策定の手法は、ほかにもいくつかあります。企業をさまざまな角度から分析し、「勝ちパターン」を見つけることが企業再生への第一歩といえます。

ファイブフォース分析 5つの競争要因

- ①供給者(売り手)の交渉力(調達コストへの影響度)
- ②購買者(買い手)の交渉力(販売価格への影響度)
- ③競争企業間の競合状態(業界の魅力度)
- ④新規参入業者の脅威(業界への参入の難易度)
- ⑤代替品の脅威(自社の競争力の有無)

出所:マイケル・ポーター「競争の戦略」を基に作成



経理部門の基本有用情報
太陽グラントソントン
今月の経理情報 2017年1月

今回のテーマ

2017年度税制改正大綱

2017年度税制改正大綱が閣議決定されました。法人税に関する主な改正内容はつぎのとおりです。

制度	改正内容		
大企業並み中小企業の特例適用制限	中小企業者等について前3事業年度の平均所得金額が15億円を超える場合、以下の租税特別措置の適用を停止 ※2019年4月1日以後より開始する事業年度から適用する。		
	〈適用除外となる中小企業特例〉 ・研究開発税制：総額型の税額控除率 ・所得拡大促進税制：税額控除の上限 ・交際費等の損金不算入制度の特例 ・軽減税率：所得800万円以下の部分 ・中小企業投資促進税制 ・中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例 など		
中小企業経営強化税制(創設)	対象事業	製造業、建設業、卸売業、小売業、不動産業 など	
	適用条件	・旧モデルと比較し生産効率等が年平均1%以上向上すること or ・年平均の投資利益率5%以上であることにつき経済産業大臣の確認を受けた投資計画に記載があるもの	
研究開発税制		現行	改正後
	【総額型】 税額控除率	8~10% (中小企業者等 12%)	6~14% (中小企業者等 12~17%)
	控除限度額	法人税額の25%	法人税額の25~35%
	対象となる試験研究	・製品の製造 ・技術の改良、考案又は発明	ビックデータ等を活用した「第4次産業革命型」の「サービス開発」を追加
	【高水準型】 税額控除率	(試験研究費割合-10%) × 20%	適用期限を2年延長
	控除限度額	法人税額の10%	
所得拡大促進税制	税額控除額：現行10%→12% (中小企業者等：現行10%→22%)		
外国子会社合算税制	合算課税方式に変更があり、以下の3つの区分に改められました。 ・会社単位の合算課税 ・一定所得の部分合算課税 ・特定の外国関係会社に係る会社単位の合算課税		

お見逃しなく!

組織再編税制では、特定事業を切り離して独立会社とするスピノフ等について、再編を円滑にするための見直しがあります。

沖 縄

- 1.4** 森トラスト株式会社(東京都港区)は、16年12月28日付で「シェラトン沖縄サンマリーナリゾート」(国頭郡恩納村)とホテル運営会社である「サンマリーナ・オペレーションズ株式会社」を取得したことを発表した。
- 1.17** 東京商工リサーチ沖縄支店の発表によると、16年暦年の沖縄県下企業整理倒産(負債総額1,000万円以上)は、発生件数が前年比38.2%減の42件、負債総額が同50.3%減の51億5,800万円となり、いずれも過去最少となった。
- 1.18** 株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント(東京都港区)は、石垣島で運営中の「ホテル日航八重山」を全面改装し、17年4月1日に「アートホテル石垣島」としてリブランドオープンすることを発表した。
- 1.19** 沖縄総合事務局によると、16年暦年の県内へのクルーズ船の寄港回数は、前年比76.7%増の387回で過去最高となった。17年も過去最多の502回(16年比29.7%増)を見込んでいる。港別でも、那覇港213回(同10.4%増)、石垣港(同84.2%増)、平良港(同20.9%増)は過去最多となる見込み。
- 1.20** 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課によると、16年暦年の入域観光客数は前年比11.0%増の861万3,100人となり、4年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。外国客は初の200万人台を記録。前年に続き全ての月で前年同月を上回り、各月の過去最高記録を更新した。
- 1.25** 沖縄地区税関が発表した管内貿易概況(速報)によると、16年暦年の輸出額は再輸出品などが減少し、前年比35.3%減の276億8,800万円だった。輸入額は原油、石油製品などが減少し、同33.8%減の1,768億8,100万円だった。差引額は1,491億9,400万円の入超となった。

全国・海外

- 1.15** 日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車販売協会連合会によると、16年の新車販売台数は前年比1.5%減の497万260台となり、東日本大震災があった11年以来5年ぶりに500万台を割った。登録車は同3.0%増の324万4,798台で、軽自動車は同9.0%減の172万5,462台だった。
- 1.17** 日本政府観光局によると、16年暦年の訪日外客数は前年比21.8%増の2,403万9,000人となり、64年の統計開始以降最多となった。主要20市場のうち、中国は同27.6%増の637万人と全市場で初の600万人台に達した。また、韓国が初めて500万人を、台湾が400万人を超えた。
- 1.17** 国土交通省によると、16年暦年の訪日クルーズ旅客数は前年比78.5%増の199.2万人、クルーズ船の寄港回数は同38.8%増の2,018回となり、いずれも過去最高を記録した。港湾別では、第1位が博多港(328回)、第2位が長崎港(197回)、第3位が那覇港(193回)となった。
- 1.17** 観光庁の訪日外国人消費動向調査によると、16年暦年の訪日外国人旅行消費額(速報)は前年比7.8%増の3兆7,476億円となり、年間値の過去最高となった。また、訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出(速報)は同11.5%減の15万5,896円となった。
- 1.23** 日本チェーンストア協会の発表によると、会員企業57社、9,489店舗の16年暦年の総販売額は13兆426億円余で、店舗調整後の対前年比は99.6%となり、2年ぶりのマイナスとなった。
- 1.24** 東京商工リサーチの発表によると、負債額1,000万円以上の企業倒産について、16年暦年の倒産件数は前年比4.1%減の8,446件と8年連続で前年を下回り、90年以來の低水準となった。負債総額は同5.0%減の2兆1,123億8,200万円と2年ぶりに前年を下回った。

沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2014	6.9	2.5	3.3	▲ 6.2	7.8	4.8	294,689	10.5	2,098	▲ 1.8
2015	14.5	3.1	5.6	▲ 6.9	▲ 4.3	2.3	321,300	9.0	2,037	▲ 2.9
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	-	-
2015 11	3.8	1.5	4.7	▲ 2.0	▲ 13.1	7.5	14,816	▲ 15.4	185	34.1
12	4.2	1.6	4.1	7.6	▲ 11.4	▲ 0.7	19,114	▲ 16.8	135	▲ 31.1
2016 1	4.0	5.8	8.5	9.8	▲ 3.8	▲ 0.7	12,202	▲ 15.0	215	69.9
2	10.5	8.4	11.1	2.3	0.5	5.5	44,788	76.4	154	▲ 0.7
3	0.7	1.0	3.3	▲ 4.1	▲ 9.6	2.5	39,972	▲ 24.7	120	▲ 16.1
4	4.9	4.7	6.2	11.1	22.3	0.6	17,690	47.5	182	▲ 12.2
5	1.8	5.4	6.1	7.0	20.5	13.8	14,261	16.8	119	▲ 25.3
6	4.1	3.3	4.1	▲ 9.9	2.0	4.3	23,421	▲ 31.8	188	▲ 1.2
7	13.9	4.5	4.7	1.0	0.4	1.2	34,156	2.0	163	0.3
8	▲ 0.9	0.1	0.5	2.9	15.6	14.9	24,997	7.0	120	▲ 46.2
9	2.0	1.7	1.9	0.5	▲ 5.2	3.1	37,867	22.8	213	33.9
10	▲ 4.3	3.7	3.8	▲ 13.4	4.5	▲ 5.0	36,683	▲ 24.1	209	8.9
11	▲ 5.9	3.1	3.3	7.0	6.9	9.5	24,026	62.2	151	▲ 18.6
12	3.1	1.4	1.6	2.4	▲ 4.4	4.0	23,920	25.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2014	15,426	▲ 7.2	10.7	18.3	4.6	9.4	9.1	6.7	0.7	4.0
2015	16,136	4.6	22.7	3.4	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 5.0	6.2	4.1	▲ 1.2
2016	-	-	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	-	▲ 2.9	-
2015 11	1,306	7.4	7.0	▲ 5.3	▲ 14.5	▲ 2.4	▲ 5.6	2.7	0.3	▲ 3.8
12	1,306	▲ 4.5	74.8	▲ 9.4	▲ 13.9	▲ 13.2	▲ 4.4	▲ 1.8	1.6	0.9
2016 1	1,366	15.7	125.1	▲ 16.4	▲ 20.4	▲ 21.1	▲ 8.4	2.6	▲ 11.1	▲ 0.2
2	1,000	▲ 25.3	11.7	▲ 1.8	▲ 13.8	▲ 3.7	▲ 3.9	4.1	▲ 3.9	6.4
3	1,062	8.4	20.8	▲ 10.8	▲ 26.4	▲ 24.4	▲ 6.2	▲ 3.9	▲ 3.5	▲ 1.5
4	1,409	20.2	▲ 1.5	▲ 8.8	▲ 17.3	▲ 11.8	▲ 5.5	0.1	▲ 3.8	2.5
5	1,085	▲ 13.5	5.2	▲ 0.7	▲ 3.6	▲ 14.5	0.6	6.3	0.5	2.3
6	1,535	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 0.3	▲ 10.1	▲ 24.6	▲ 5.2	8.2	▲ 6.3	1.0
7	1,432	5.1	8.4	▲ 13.4	▲ 25.6	▲ 13.7	▲ 15.9	8.5	15.5	▲ 1.9
8	1,082	▲ 38.7	29.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 8.6	▲ 12.2	5.0	▲ 1.4	▲ 3.8
9	1,714	12.2	5.8	▲ 17.3	▲ 21.7	▲ 13.5	▲ 13.3	0.2	▲ 4.5	1.2
10	1,731	54.8	▲ 2.0	▲ 12.4	▲ 9.7	▲ 6.2	1.5	P 2.7	▲ 6.0	2.1
11	1,057	▲ 19.1	8.8	▲ 1.3	2.9	▲ 0.1	▲ 3.6	P ▲ 4.3	▲ 5.6	▲ 1.8
12	-	-	▲ 11.6	5.8	▲ 1.3	▲ 6.1	▲ 8.0	P 4.2	0.3	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2014	7,058.3	10.1	893.5	62.2	79.0	77.8	5.1	5.0	104.6	2.0
2015	7,763.0	10.0	1,501.2	68.0	81.8	78.9	4.5	7.2	100.4	▲ 4.0
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	-	-	-	-	-	-
2015 11	619.6	9.8	113.4	101.1	83.1	74.1	▲ 1.2	7.2	101.8	▲ 6.3
12	613.6	11.7	128.3	98.3	71.7	60.6	▲ 4.3	▲ 2.1	102.6	▲ 9.2
2016 1	581.6	9.7	114.9	69.2	79.1	71.4	0.6	▲ 0.1	88.6	▲ 13.9
2	622.5	13.0	149.9	72.9	89.4	82.3	9.3	5.5	88.7	▲ 16.2
3	709.2	7.6	137.9	74.6	81.2	77.0	0.6	2.6	106.5	1.0
4	681.5	7.3	162.2	24.2	80.2	78.8	12.3	7.7	98.1	▲ 6.9
5	697.1	14.0	206.5	54.5	74.2	73.5	▲ 3.6	▲ 1.9	84.5	▲ 9.0
6	714.4	17.1	215.9	44.7	79.2	80.2	8.4	10.5	93.1	▲ 7.0
7	805.8	12.9	217.3	33.3	84.6	85.9	9.1	3.3	96.7	▲ 9.4
8	926.9	16.2	232.0	50.0	88.3	90.3	4.3	6.4	92.0	▲ 8.3
9	793.0	9.4	203.4	36.0	89.2	90.8	▲ 3.2	0.8	93.3	▲ 1.6
10	767.9	10.2	194.7	34.2	P 82.8	85.6	P 5.0	6.2	103.8	▲ 0.9
11	650.2	4.9	110.2	▲ 2.8	P 80.1	74.2	P ▲ 6.1	1.6	97.7	▲ 1.3
12	663.0	8.1	137.2	6.9	P 76.2	P 62.0	P 7.4	P 4.9	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2014	78	10,112	▲ 73.7	2.5	5.4	0.5	0.69	14.7	80,589	380,584
2015	68	10,387	2.7	0.6	5.2	2.9	0.84	12.1	42,785	267,346
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,688	176,881
2015 11	6	665	36.6	0.2	4.7	2.7	0.90	6.3	9,181	29,089
12	7	919	14.0	0.1	5.4	1.8	0.91	7.0	1,670	13,831
2016 1	5	375	0.0	▲ 0.1	4.8	3.6	0.90	10.6	1,079	27,789
2	5	282	▲ 80.6	0.5	4.3	5.6	0.91	22.8	1,189	16,699
3	5	2,050	354.5	0.4	4.5	3.6	0.92	11.6	4,536	22,168
4	5	596	861.3	0.3	5.3	0.0	0.94	2.3	1,817	9,279
5	3	122	▲ 61.0	▲ 0.2	5.1	1.2	0.98	15.7	3,740	12,197
6	4	110	▲ 79.9	▲ 0.1	5.0	0.7	1.01	16.9	3,841	20,926
7	0	0	▲ 100.0	▲ 0.3	4.5	0.5	1.04	▲ 0.1	996	11,607
8	4	143	▲ 95.1	▲ 0.3	3.5	1.4	1.00	12.1	1,166	19,293
9	2	240	▲ 63.0	▲ 0.2	3.6	2.3	0.96	14.4	1,153	7,114
10	2	270	▲ 18.9	0.3	3.9	2.7	1.00	▲ 8.4	2,528	8,372
11	4	770	15.8	0.6	4.4	1.3	1.02	23.2	3,890	11,864
12	3	200	▲ 78.2	0.7	3.5	5.0	1.02	9.2	1,752	9,550
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2013FY	3,137	4,260	▲ 1,120	2.065	267	▲ 2.3	4,420	2.2	505	0.114
2014FY	3,104	4,424	▲ 1,320	1.955	253	▲ 5.4	4,162	▲ 5.8	349	0.084
2015FY	3,247	4,470	▲ 1,225	1.822	245	▲ 3.1	4,129	▲ 0.8	331	0.080
2015 11	230	304	▲ 73	1.845	21	22.0	373	47.9	31	0.084
12	593	165	427	1.822	20	▲ 10.0	313	▲ 8.8	18	0.059
2016 1	110	587	▲ 477	1.807	18	▲ 3.0	286	▲ 0.7	17	0.061
2	253	352	▲ 99	1.794	22	13.3	348	8.0	29	0.085
3	306	415	▲ 109	1.758	21	▲ 10.4	371	▲ 9.6	79	0.213
4	293	253	39	1.749	17	▲ 17.6	297	▲ 21.2	10	0.034
5	161	479	▲ 317	1.723	22	15.7	388	27.2	27	0.069
6	201	329	▲ 127	1.696	21	▲ 13.9	346	▲ 16.8	5	0.015
7	222	356	▲ 133	1.683	18	▲ 17.0	270	▲ 27.5	13	0.049
8	257	402	▲ 144	1.669	22	9.9	397	19.6	1	0.001
9	182	404	▲ 221	1.658	19	▲ 5.8	306	▲ 15.2	26	0.084
10	228	336	▲ 107	1.648	18	▲ 0.1	286	3.1	2	0.008
11	203	315	▲ 111	1.639	18	▲ 13.2	271	▲ 27.5	1	0.003
12	-	-	-	-	18	▲ 8.4	288	▲ 7.8	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高 (未残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2013FY	42,266	1.4	29,713	4.3	41,516	3.3	8,176	▲ 8.5	1,554	▲ 7.9
2014FY	44,575	5.5	31,332	5.5	42,849	3.2	8,152	▲ 0.3	1,391	▲ 8.8
2015FY	45,359	1.8	33,039	5.4	44,933	4.9	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
2015 11	45,602	4.4	31,688	5.4	45,856	5.5	7,837	▲ 1.9	1,302	▲ 7.2
12	45,717	4.7	32,188	5.9	45,874	5.2	7,827	▲ 1.4	1,292	▲ 8.5
2016 1	44,840	3.5	32,144	5.7	45,598	4.6	7,782	▲ 1.7	1,275	▲ 9.5
2	45,128	3.5	32,402	5.9	45,393	5.1	7,738	▲ 1.9	1,269	▲ 8.9
3	45,359	1.8	33,039	5.4	45,407	4.3	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
4	45,990	2.5	32,323	5.7	46,378	4.2	7,977	▲ 1.6	1,236	▲ 7.8
5	46,155	2.5	32,543	5.9	46,639	4.6	7,914	▲ 1.9	1,213	▲ 7.7
6	46,170	2.0	32,754	6.3	47,362	4.7	7,869	▲ 1.8	1,211	▲ 7.0
7	45,893	1.8	32,834	6.0	47,434	3.9	7,841	▲ 1.1	1,215	▲ 6.3
8	45,580	1.3	33,031	6.1	47,100	3.3	7,931	0.4	1,219	▲ 5.5
9	45,177	▲ 0.1	33,389	5.5	47,140	2.6	7,949	1.9	1,226	▲ 6.5
10	44,971	▲ 0.3	33,285	6.1	46,421	1.7	8,064	2.9	1,214	▲ 7.2
11	45,547	▲ 0.1	33,538	5.8	46,839	2.1	8,021	2.3	1,205	▲ 7.5
12	-	-	-	-	-	-	-	-	1,207	▲ 6.6
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

とくとく特典

特典1

ATM時間外
手数料が **無料!**
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の
振込手数料が **無料!**
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の
金利を**上乗せ!**
(※店頭表示金利+0.05%)

ポイントサービスとは!

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。



0120-19-8689

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

特集レポートバックナンバー

■平成27年

3月 (No.545)	経営トップに聞く An Entrepreneur	住宅情報センター株式会社 株式会社ビザライ	3月 (No.557)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社前田鶏卵 株式会社グランディール 特別寄稿 沖縄観光の長期展望
4月 (No.546)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社久米島の久米仙 株式会社ポイントビュール	4月 (No.558)	経営トップに聞く An Entrepreneur	大晋建設株式会社 株式会社エスベレ 特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2015年)
5月 (No.547)	経営トップに聞く An Entrepreneur	学校法人みのり学園 株式会社インターナショナルローカル	5月 (No.559)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社徳里産業 有限会社石川種麵店
6月 (No.548)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社南都 的エンタープライズ株式会社	6月 (No.560)	経営トップに聞く An Entrepreneur	医療法人博寿会 合同会社キンアグー
7月 (No.549)	経営トップに聞く An Entrepreneur	ジェフ沖縄株式会社 株式会社あつん堂	7月 (No.561)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社okicom 株式会社リュウクス
8月 (No.550)	経営トップに聞く An Entrepreneur	有限会社喜納住宅開発 株式会社FSO	8月 (No.562)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社プレンティールホールディングス 株式会社バイオジェット
9月 (No.551)	経営トップに聞く An Entrepreneur	社会医療法人友愛会 有限会社日本アイル くだう動物病院	9月 (No.563)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社森山写真商会 琉球インタラクティブ株式会社
10月 (No.552)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ビッグワン 株式会社アイセック・ジャパン	10月 (No.564)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社丸大 みかん・おれんじグループ
11月 (No.553)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社佐久本工機 株式会社食のかけはしカンパニー	11月 (No.565)	経営トップに聞く An Entrepreneur	デルタ電気工業株式会社 株式会社ABCメディカルサポート 特集 宮古ロックフェスティバル2016の経済効果
12月 (No.554)	経営トップに聞く An Entrepreneur	まさひろ酒造株式会社 安里紅型工房	12月 (No.566)	経営トップに聞く An Entrepreneur	フォーモストブルーシール株式会社 真幸組株式会社

■平成28年

1月 (No.555)	経営トップに聞く An Entrepreneur	社会医療法人仁愛会 有限会社島袋瓦工場 特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望
2月 (No.556)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ジャンボツアーズ あーびゃーんもーゆ琉球月桃

■平成29年

1月 (No.567)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社かりゆし 有限会社コムテック創研 特集1 県内企業の人手不足の対応と課題 特集2 沖縄県経済2016年の回顧と2017年の展望
-------------	-----------------------------	--

車両の管理にお困りではありませんか？

車両を所有した場合、税金・保険料・車検代など、

車両経費の支払い項目は多岐に渡ります。

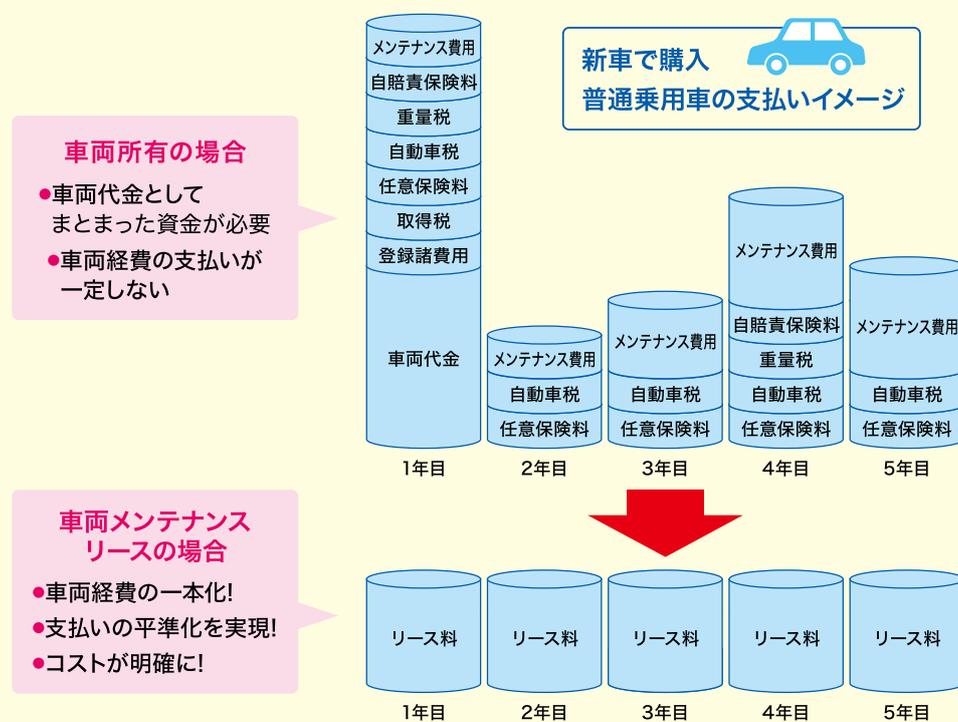
しかも1台ごとに発生するため、

台数が多くなると、事務手続き等が煩雑になりがちです。

車両メンテナンスリースで **3**つの改善

- ① ほとんどのコストがリース料に一本化されるため、支払いを平準化することができます。
- ② 通常把握しにくい車両コストが明確になり、予算の策定・管理が容易になります。
- ③ 多くの場合、リース料の全額経費(損金)処理により、決算処理をシンプルに行うことができます。

(なお、契約条件やお客さまが採用する会計処理によっては、オンバランスとなる場合があります)



株式会社——企業のあすを共に考える

RL 琉球リース

<http://www.release.co.jp/>

【本 社】〒900-8550 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル10階 TEL.098-866-5500 FAX.098-863-0381
【中部支店】〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1丁目1番10号 琉球銀行コザ支店共同ビル6階 TEL.098-939-4880 FAX.098-939-4882

りゅうぎん調査

No.568

平成29年 2月5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9
りゅうぎん健保会館3階
TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社